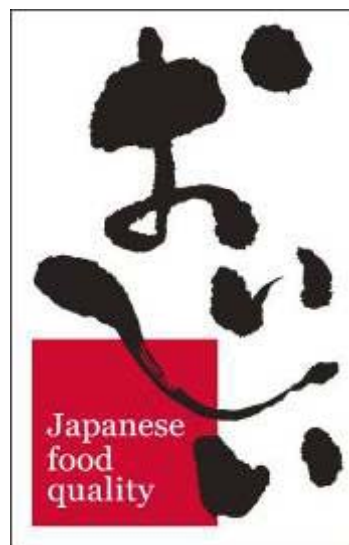


平成22年農林水産物等輸出実績

(品目別)

大臣官房国際部



平成 2 3 年 7 月

農林水産省



目次

品目別内訳2		
加工食品の内訳3	野菜・果実等の内訳16
醤油4	りんご17
みそ5	桃18
アルコール飲料6	なし19
清涼飲料水7	ながいも等20
菓子(米菓を除く)8	いちご21
米菓9	メロン22
		レタス23
畜産品の内訳10	その他農産物の内訳24
粉乳11	植木等25
牛肉12	切花26
牛乳13	緑茶27
穀物等の内訳14	林産物の内訳28
米(援助用除く)15	製材加工材29
		丸太30
		水産物(水産調製品以外)の内訳31
		さけ・ます32
		真珠(製品含む)33
		ホタテ貝34
		さば35
		すけとうだら36
		かつお類37
		さんま38
		錦鯉等観賞用魚39
		たい40
		水産調製品の内訳41
		乾燥なまこ42
		貝柱調製品43
		あわび(調整)44

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

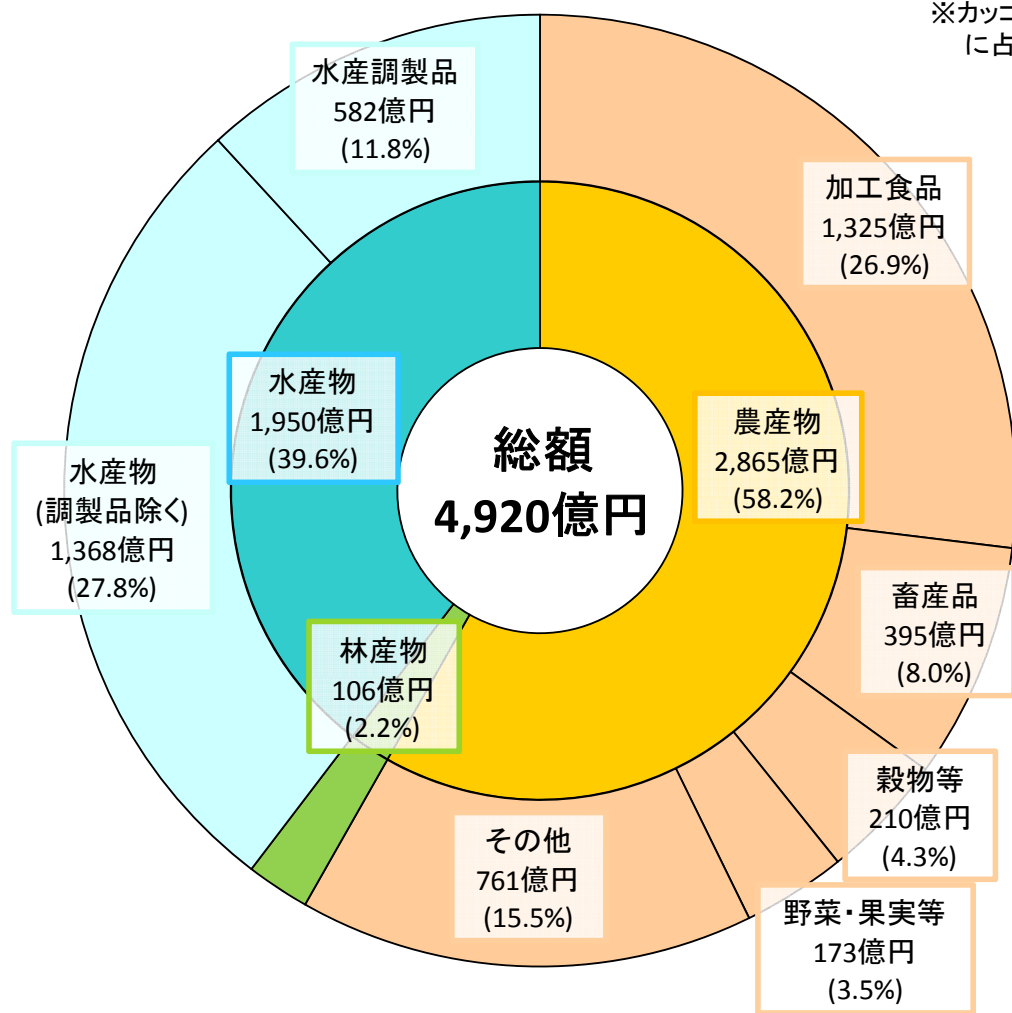
MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成22年)

(単位:億円)

※カッコ内は輸出額に占める割合



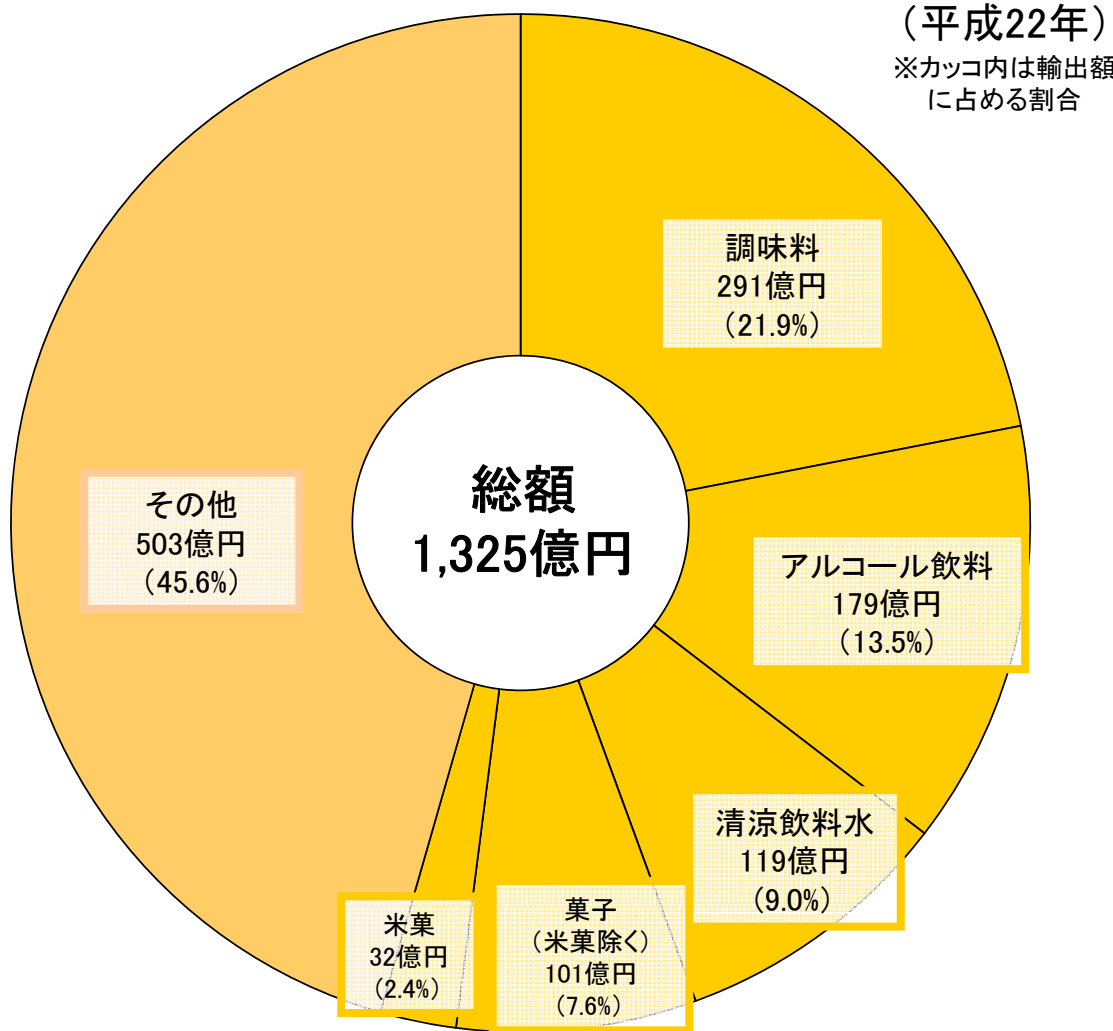
	平成21年	平成22年	増減率
農林水産物	4,454	4,920	10.5%
農産物	2,637	2,865	8.6%
加工食品	1,225	1,325	8.2%
畜産品	351	395	12.7%
穀物等	195	210	7.6%
野菜・果実等	164	173	5.5%
その他農産物	702	761	8.4%
林産物	93	106	13.6%
水産物	1,724	1,950	13.1%
水産物 (調製品以外)	1,250	1,368	9.5%
水産調製品	475	582	22.6%
総輸出額	541,706	673,996	24.4%
乗用車	57,971	78,980	36.2%



加工食品の品目別内訳

●加工食品の品目別内訳をみると、調味料、アルコール飲料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(単位: 億円)



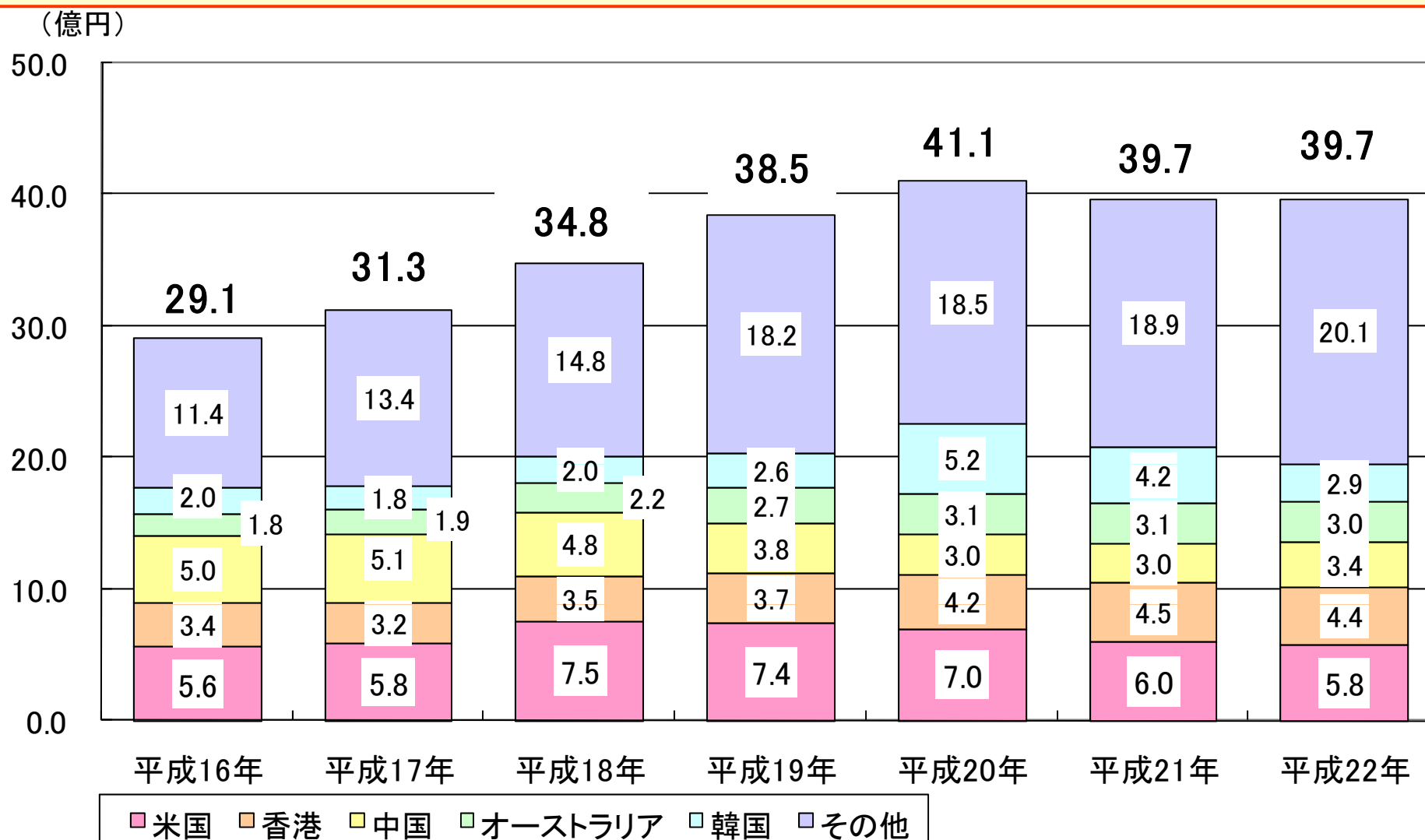
品目名	平成21年	平成22年	対前年比
調味料	270.6	290.8	7.5%
ソース混合調味料	193.4	212.1	9.7%
醤油	39.7	39.7	0.1%
みそ	20.2	21.0	3.6%
アルコール飲料	154.0	178.6	16.0%
清酒	71.8	85.0	18.3%
ビール	27.0	31.8	17.9%
焼酎	13.5	15.3	13.1%
ぶどう酒	2.2	3.4	53.5%
清涼飲料水	100.9	119.1	18.1%
菓子 (米菓除く)	95.4	101.0	5.8%
チョコレート菓子	41.6	46.7	12.3%
キャンデー類	34.1	35.0	2.6%
ビスケット	10.0	10.7	6.5%
チューインガム	9.7	8.6	▲11.2%
スープ プロス	45.2	47.9	6.0%
米菓	29.8	32.0	7.4%
ペプトン等	15.8	22.0	39.3%
デキストリン等	14.0	18.5	32.3%
酵母	16.9	17.3	2.2%
レシチン等	16.3	10.2	▲37.3%
ベーカリー製品製造用混合物	12.6	11.8	▲5.7%
アイスクリーム等氷菓	6.6	6.9	5.0%
その他	447.0	468.9	4.9%
加工食品計	1,225.0	1,325.1	8.2%

※ソース混合調味料…ソース、たれ、カレー調製品等
 ※ペプトン…牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもの。食品添加物、培地等に使用
 ※デキストリン…タピオカなどのでん粉を分解したもの。健康食品の原料等に使用
 ※酵母…ビール酵母など。健康食品や飼料の原料にも使用
 ※レシチン…卵黄や大豆由来の脂質。食品添加物、健康食品の原料等に使用
 ※ベーカリー製品製造用混合物…冷凍ピザ、たこ焼き、お好み焼き等



醤油の輸出額・輸出先国の推移

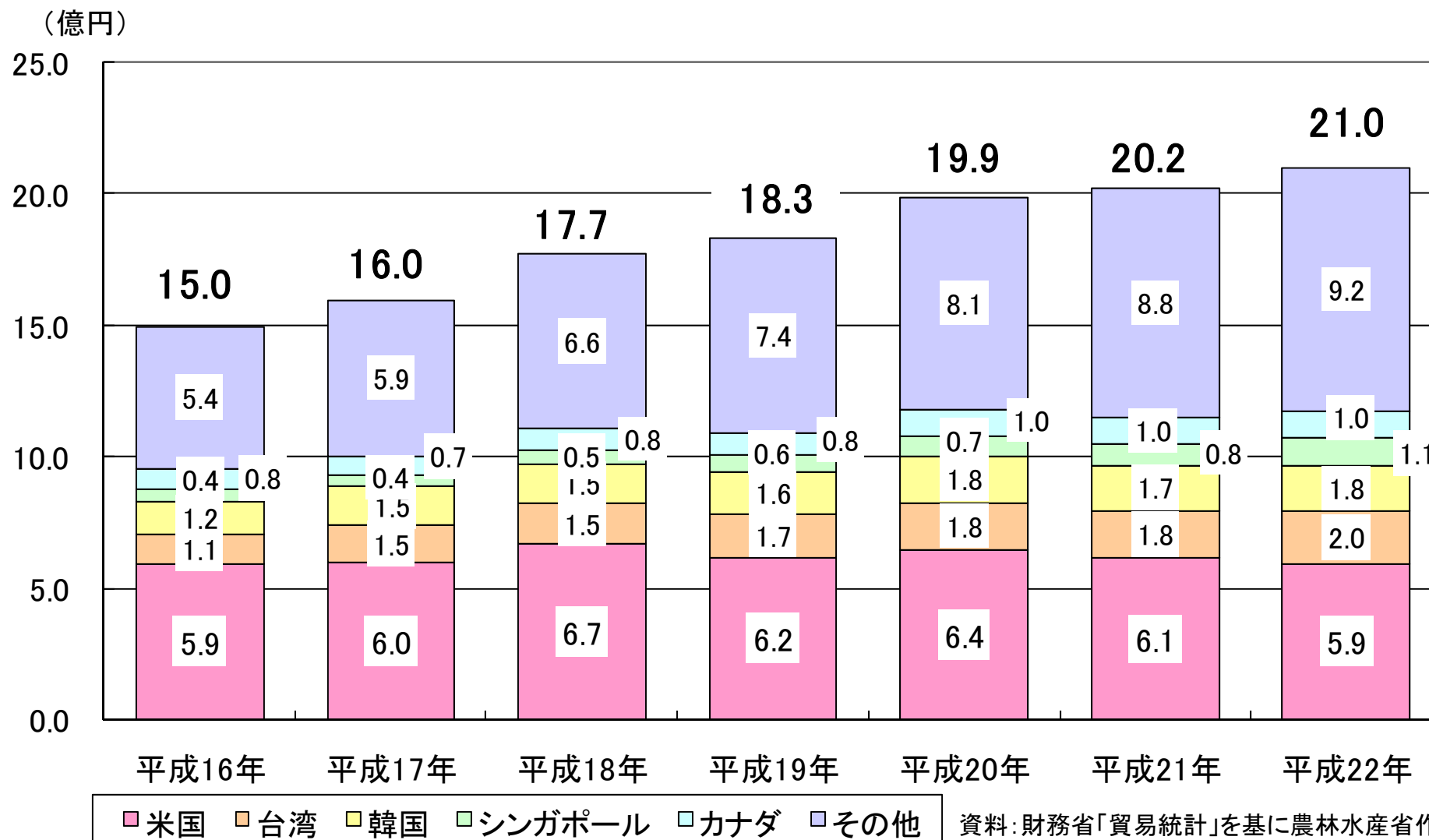
- 醤油の輸出額は、近年傾向的に増加。
- 調味料の一つとして、多くの国・地域に向けて日本の醤油が輸出されている。





みその輸出額・輸出先国の推移

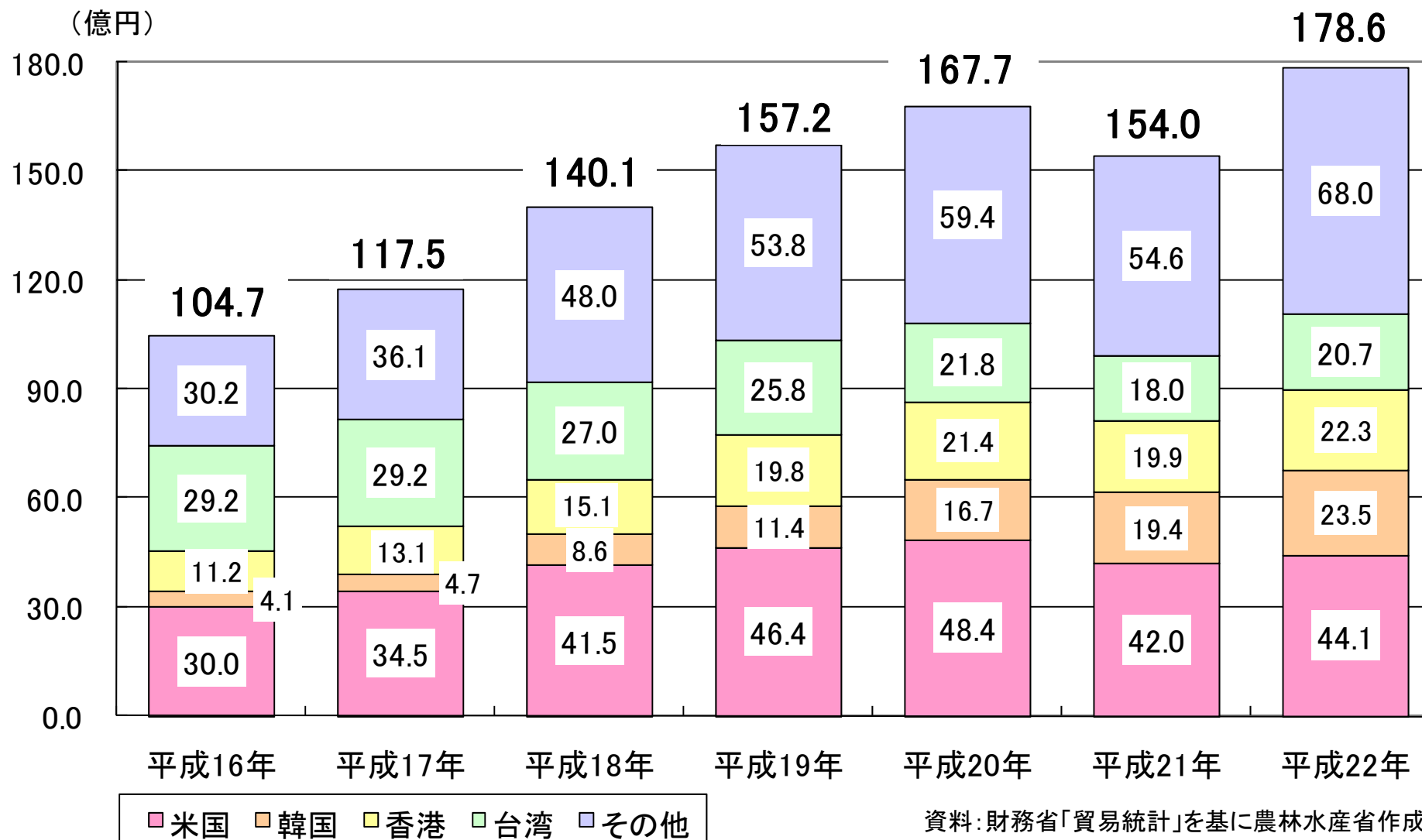
- みその輸出額は、近年順調に増加。
- 日本食レストランの普及に伴い、多くの国・地域に向けて日本のみそが輸出されている





アルコール飲料の輸出額・輸出先国の推移

- アルコール飲料の輸出額は、近年傾向的に増加。
- 内訳をみると、清酒(85億円)が最も多く、次いでビール(32億円)、焼酎(15億円)が多い。

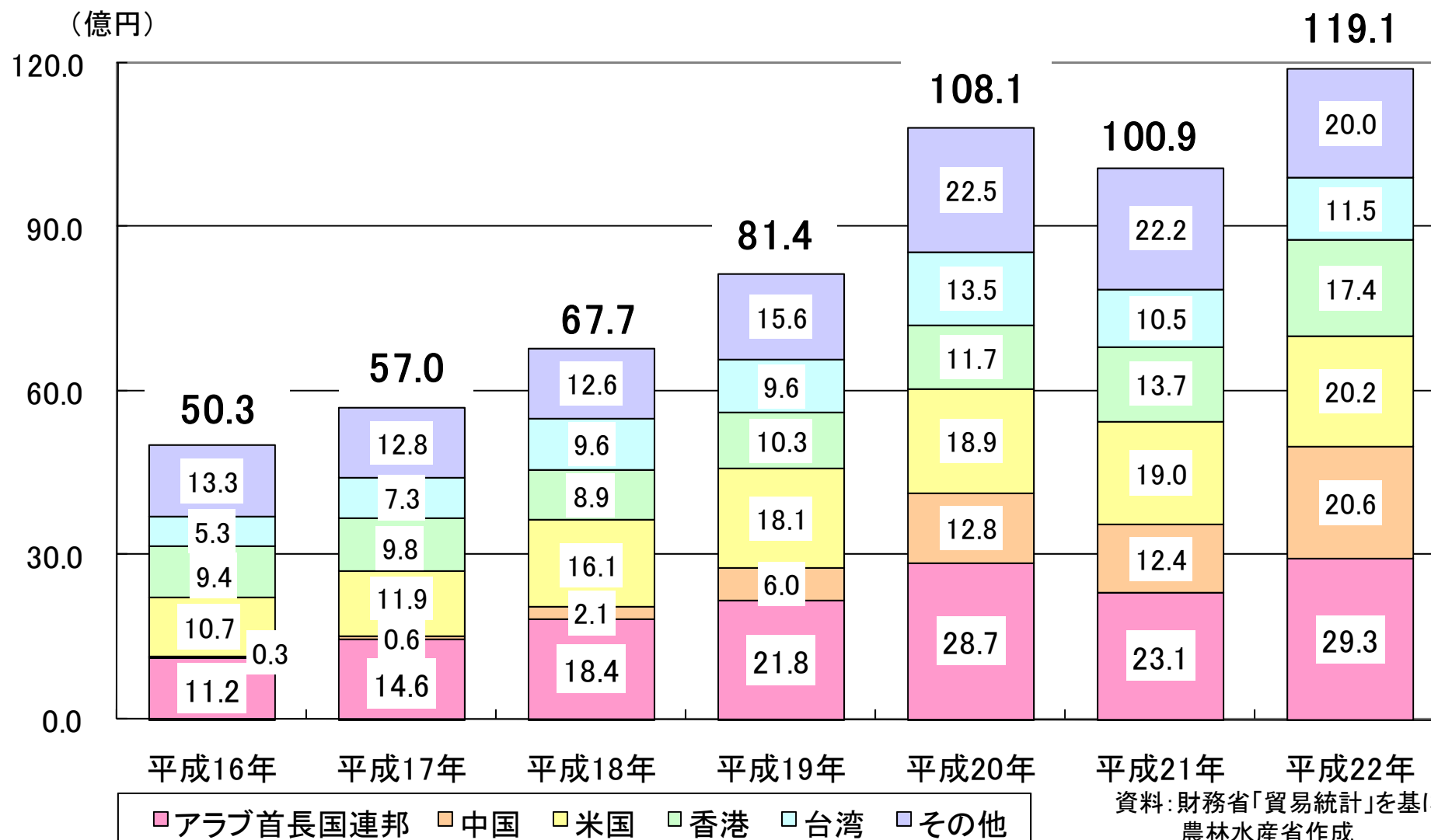




清涼飲料水の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、近年傾向的に増加。
- 近年は、特に中国向けの輸出額が増加。平成22年(20.6億円)は、平成16年(0.3億円)の約70倍。

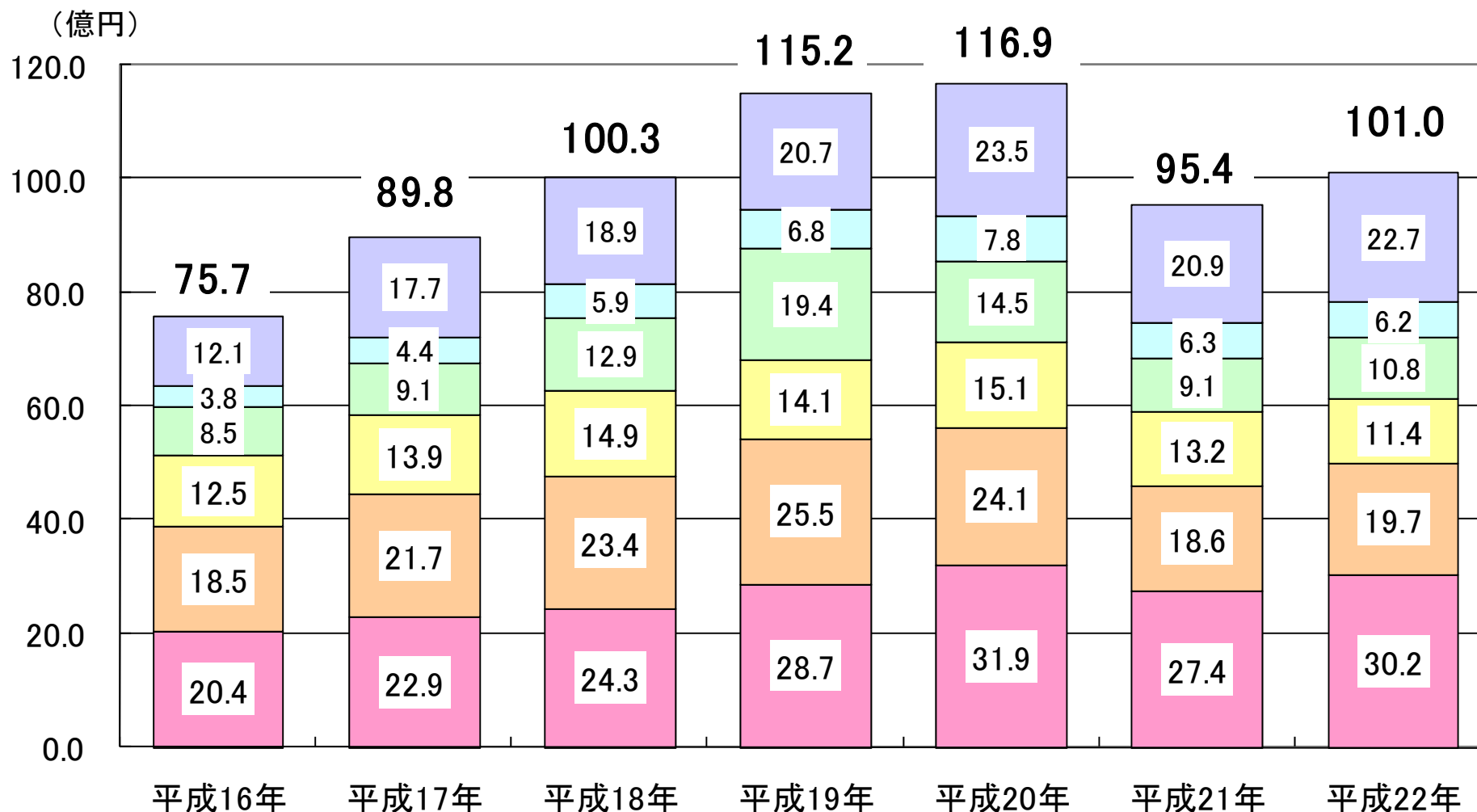




菓子(米菓除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● 日本産菓子は、高品質で安全・安心なものであると認識され、特に東アジア向けが多く、我が国の輸出主力製品のひとつとなっている。



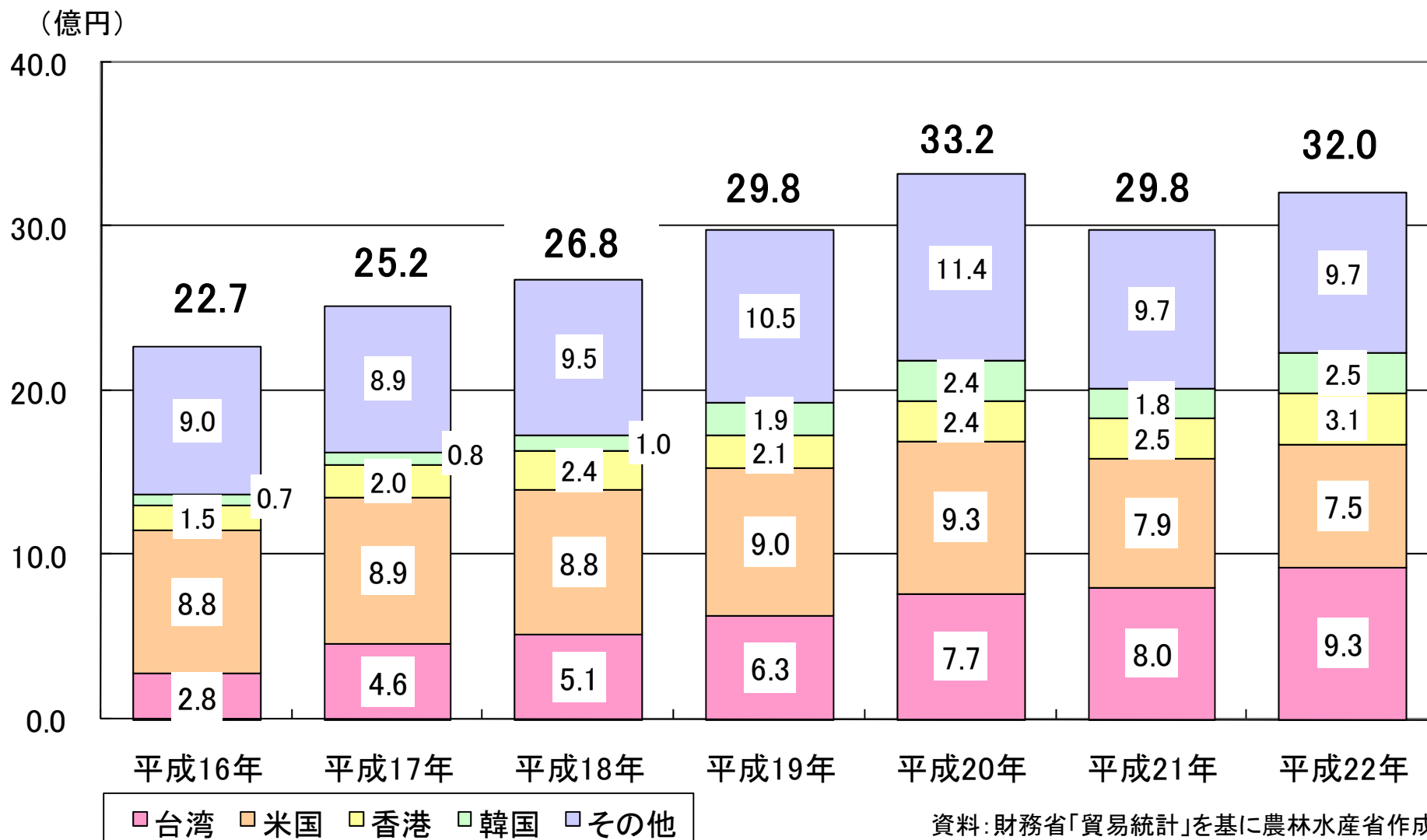
■ 香港 ■ 台湾 ■ 米国 ■ 韓国 ■ シンガポール ■ その他

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



米菓の輸出額・輸出先国の推移

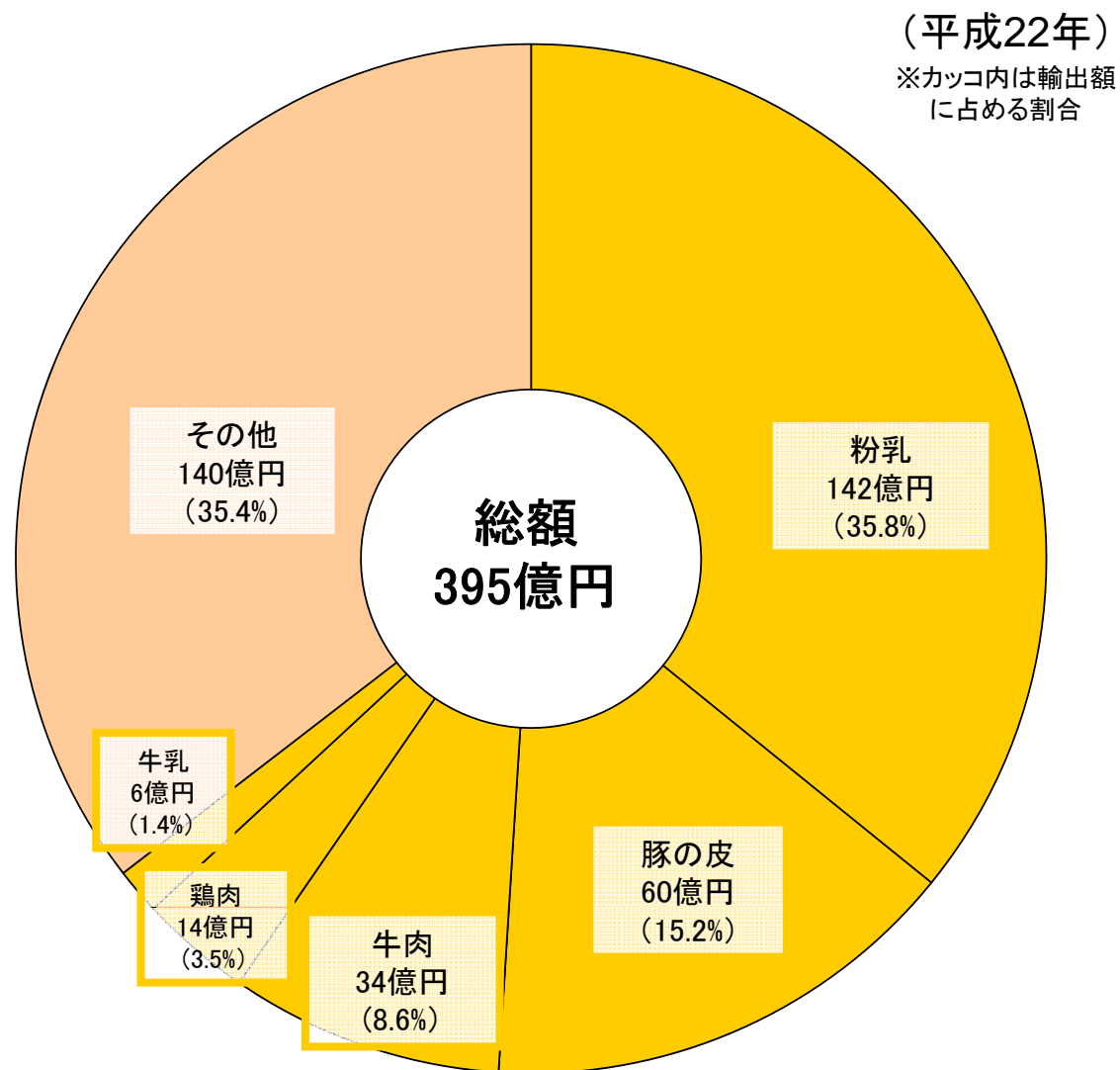
●米菓の輸出は、近年傾向的に増加。特に、台湾向けや香港向けの輸出が堅調に増加。





畜産品の品目別内訳

●畜産品の品目別内訳をみると、粉乳、豚の皮、牛肉などの割合が多い。



(単位: 億円)

品目名	平成21年	平成22年	対前年比
粉乳	124.2	141.6	▲14.1%
豚の皮	60.7	60.0	▲1.2%
牛肉	37.7	34.0	▲9.9%
牛・馬の皮	18.8	21.3	▲13.5%
ゼラチン	20.3	18.8	▲7.7%
ラノリン	10.8	15.7	▲45.2%
鶏肉	10.9	13.9	▲27.3%
牛乳	4.1	5.7	▲39.2%
鶏卵	2.8	3.0	▲9.3%
チーズ	3.5	3.0	▲12.7%
豚肉	1.4	1.9	▲38.1%
その他	53.2	75.5	▲41.7%
畜産品計	350.8	395.4	▲12.7%

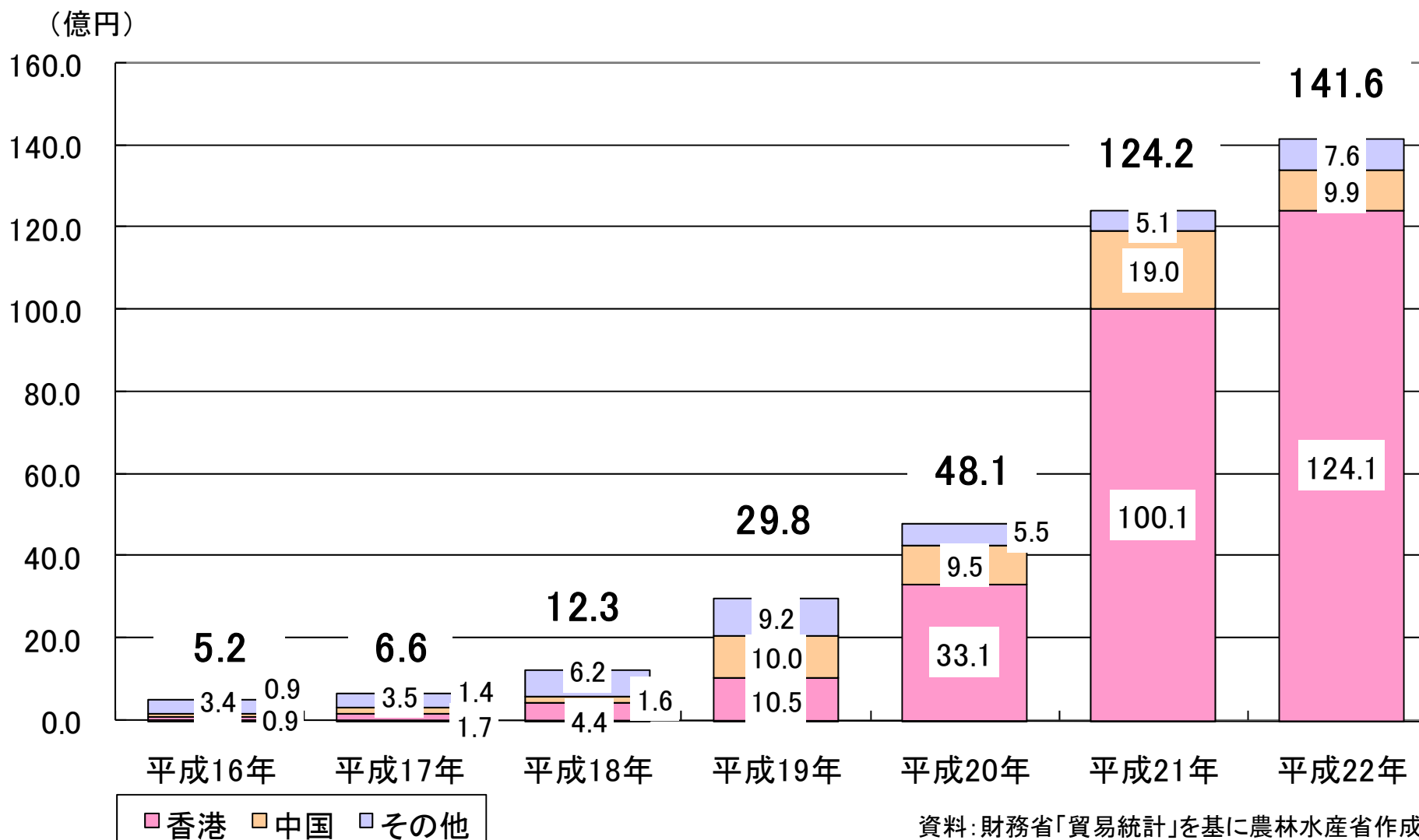
※ゼラチン…牛や豚の皮や骨から抽出されるたんぱく質。ゼリー等に使用。
※ラノリン…羊毛製品の副産物として生産される油脂。化粧品等に使用。



粉乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20(2008)年)を背景として、香港向けに日本産粉乳に対する需要が増加し、輸出額が急増。

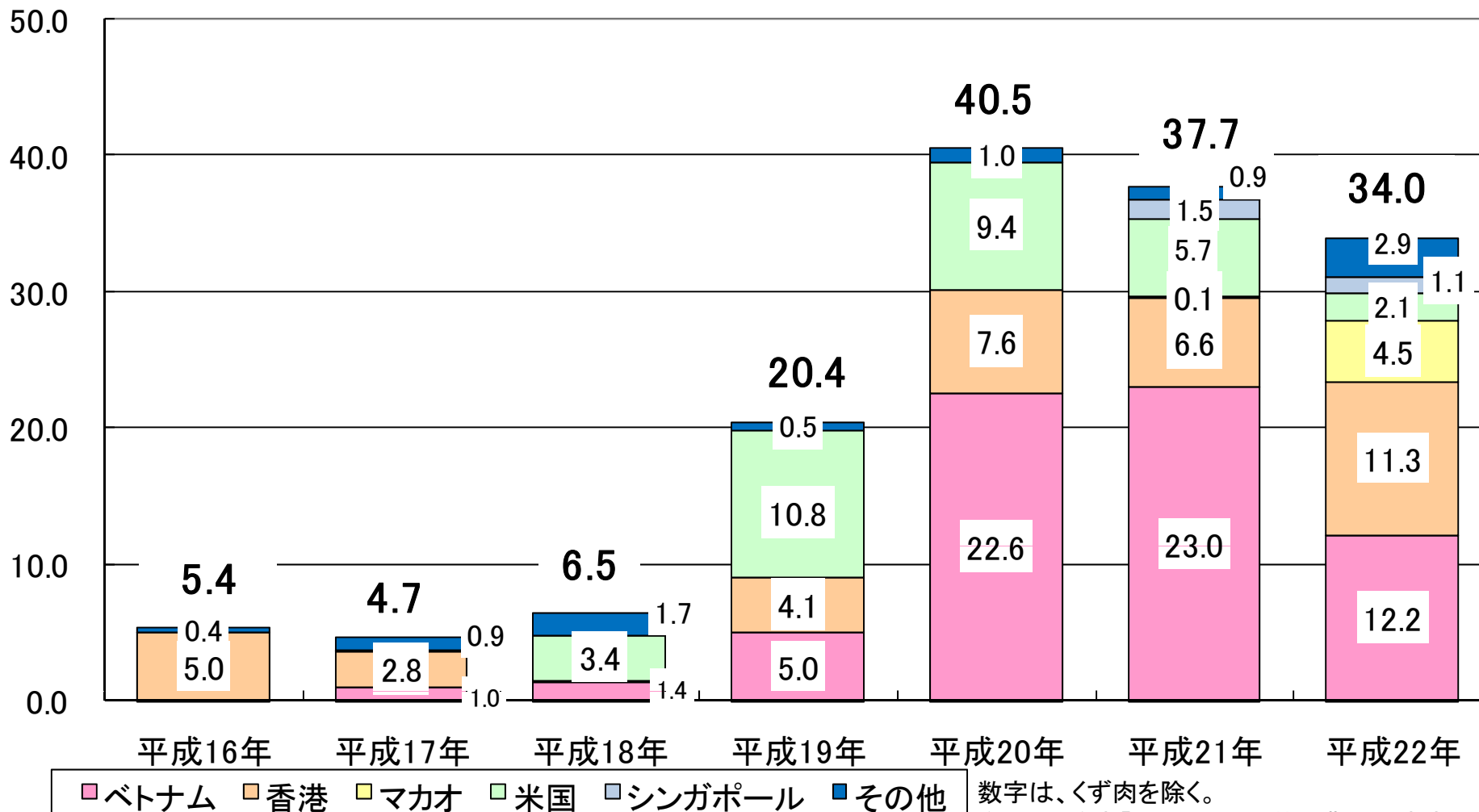




牛肉の輸出額・輸出先国の推移

- 我が国におけるBSEの発生以降、多くの国で輸入が禁止されたが、政府間の検疫協議の結果、米国（平成17年12月）、香港（平成19年4月）、シンガポール（平成21年5月）等への輸出が解禁され、輸出額が増加。
- 平成22年4月に口蹄疫が発生し、香港、マカオ等の一部国・地域を除く輸出停止の影響で輸出額は減少。

(億円)



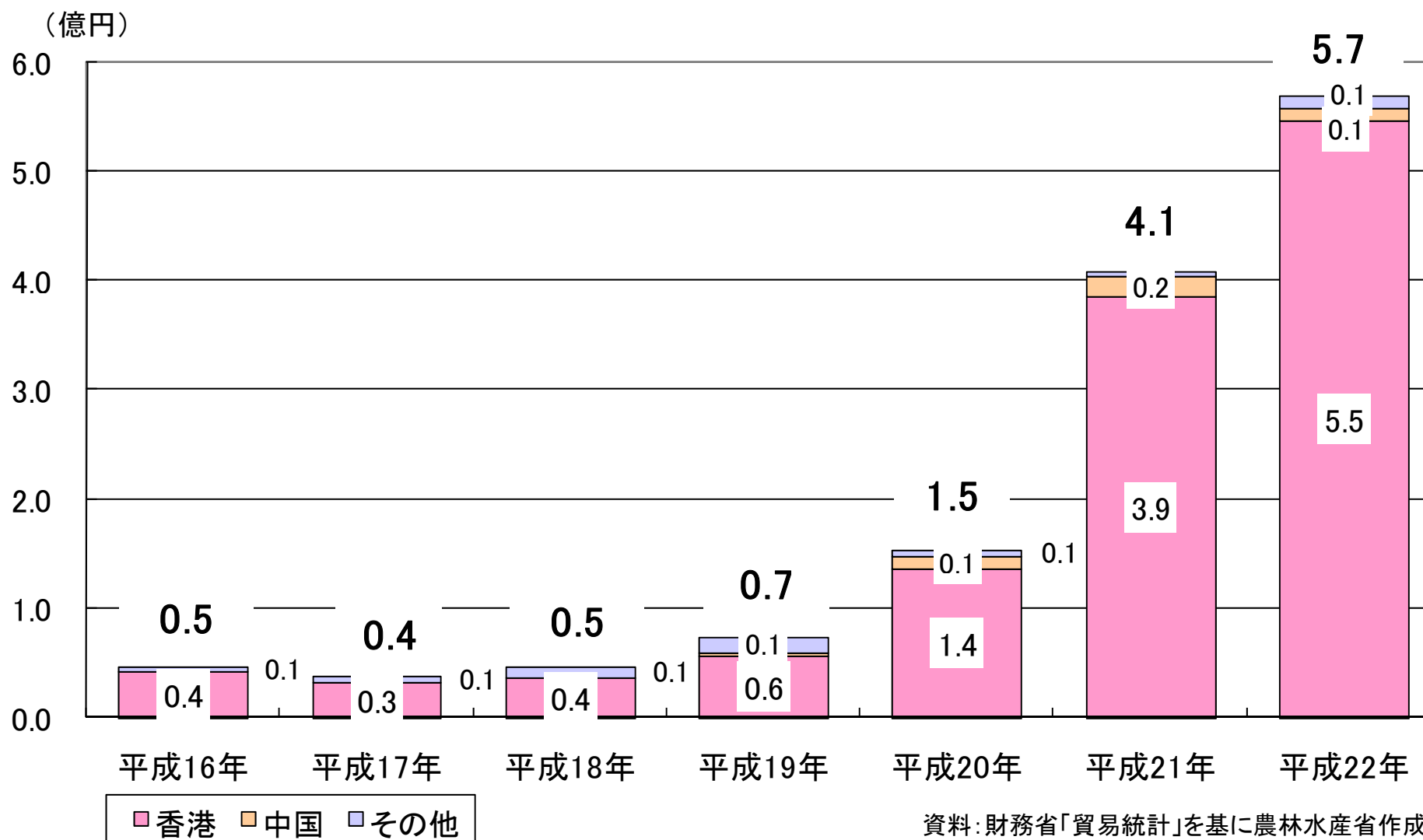
数字は、くず肉を除く。
 資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



牛乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

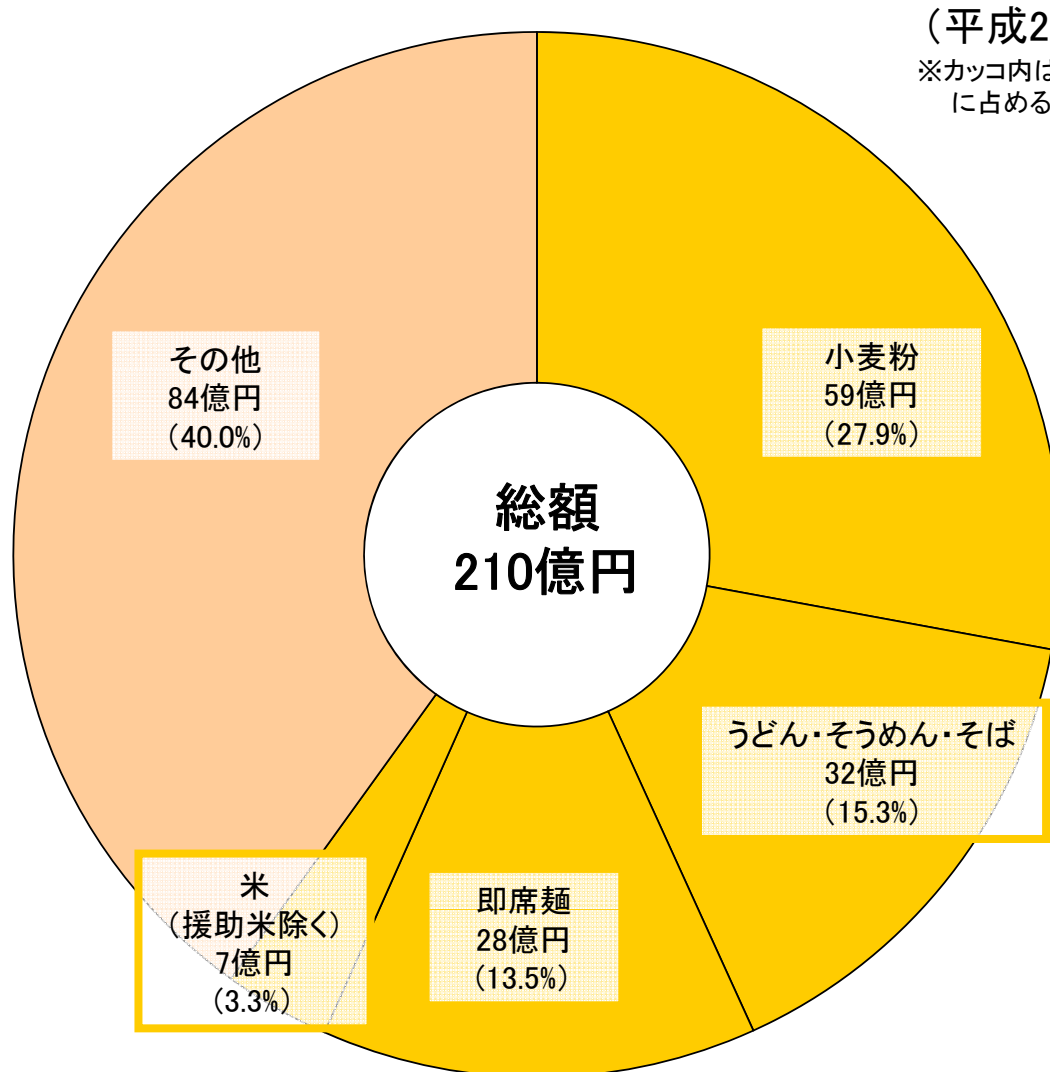
- 中国におけるメラミン混入事案(平成20(2008)年)を背景として、香港向けに日本産牛乳に対する需要が増加し、輸出額が急増。





穀物等の品目別内訳

●穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、うどん・そうめん・そば、即席麺などの割合が多い。



(単位: 億円)

品目名	平成21年	平成22年	対前年比
小麦粉	54.5	58.6	7.6%
うどん・そうめん・そば	31.2	32.1	2.9%
即席麺	29.2	28.3	▲3.2%
米	13.2	24.4	85.3%
米 (援助米除く)	5.4	6.9	27.0%
その他	67.1	66.6	▲0.8%
穀物等計	195.2	210.0	7.6%

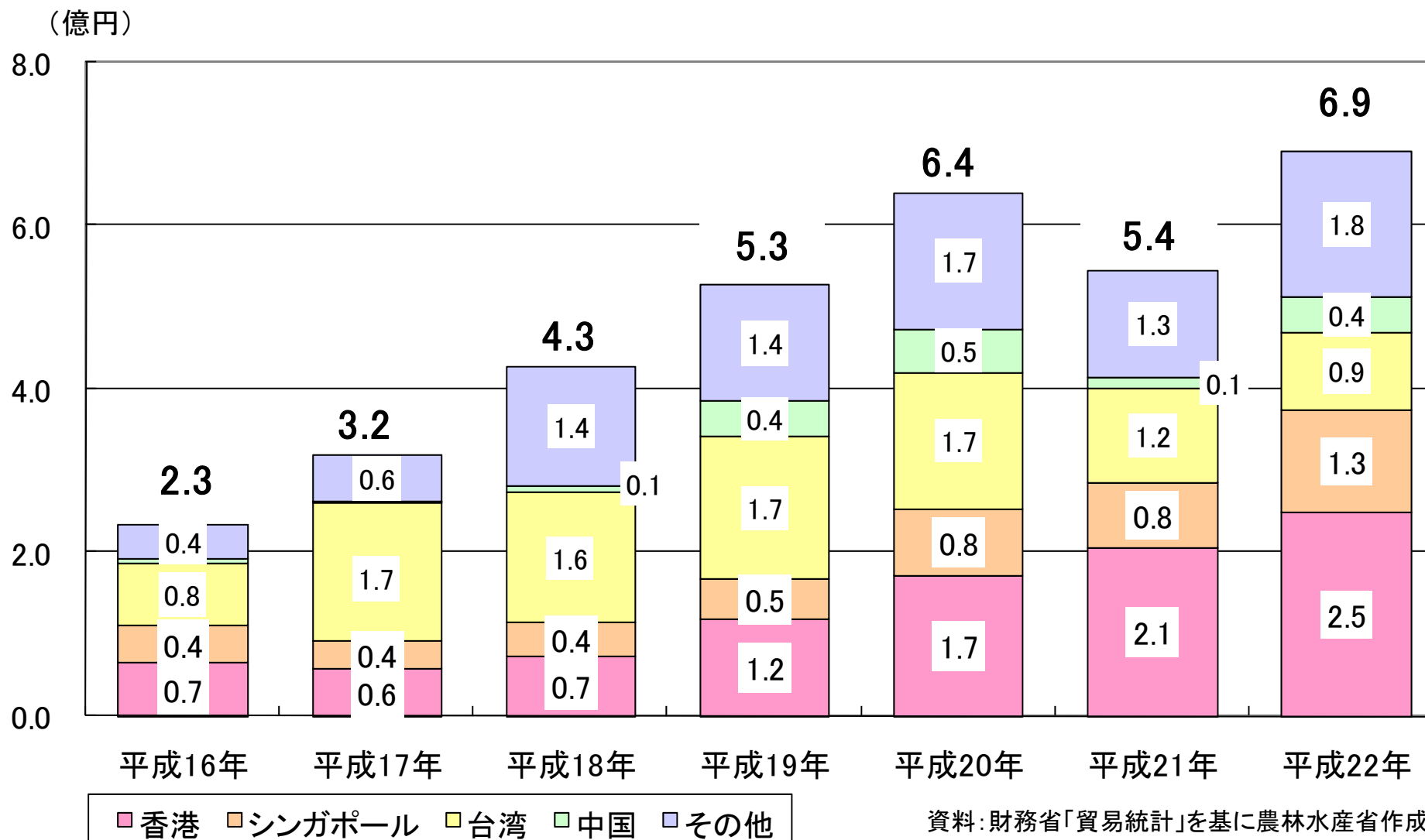
※小麦粉・・・用途は製菓用など



米(援助米除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

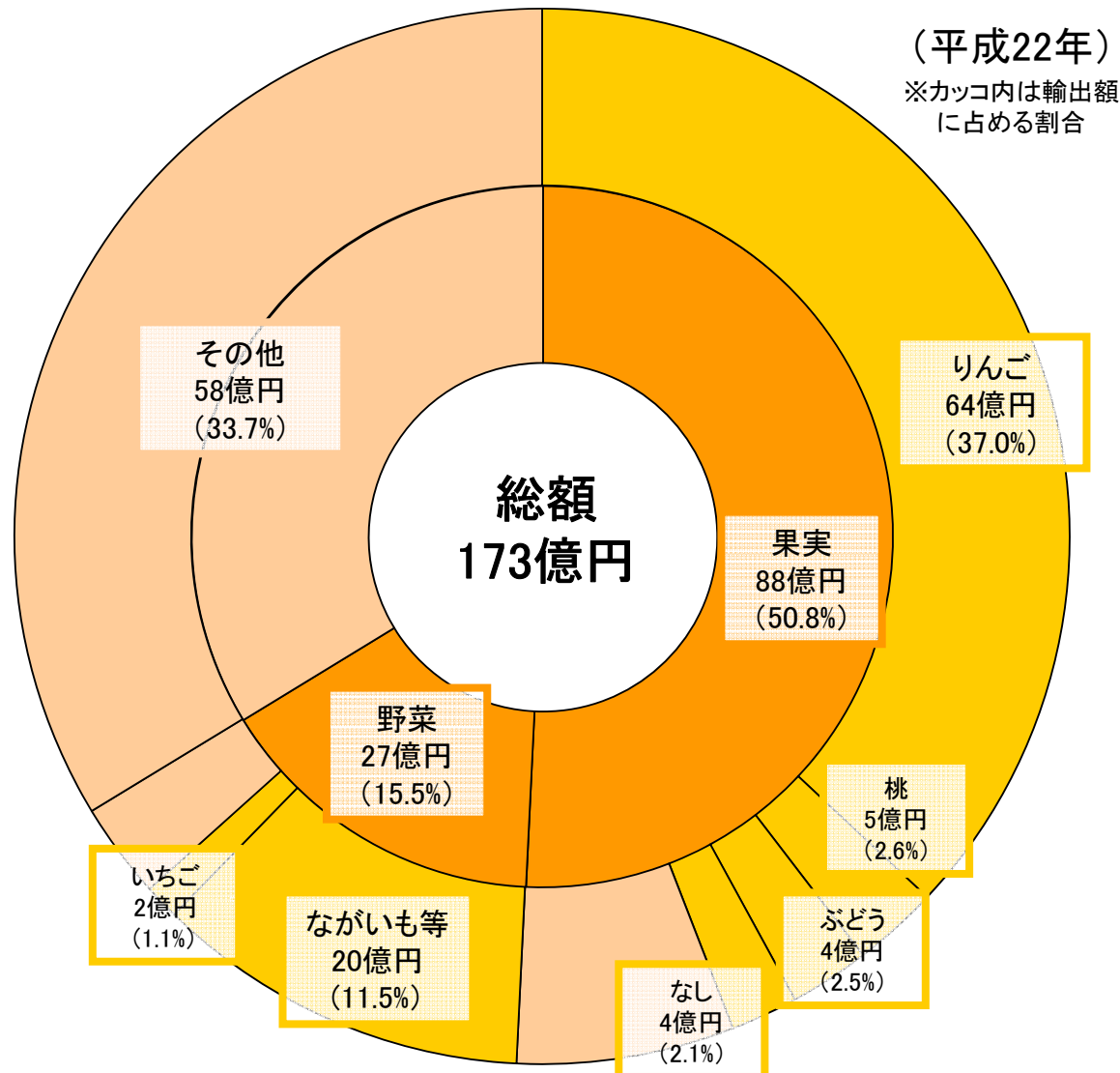
● 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、近年傾向的に増加。





果実・野菜等の品目別内訳

●果実・野菜等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもなどの割合が多い。



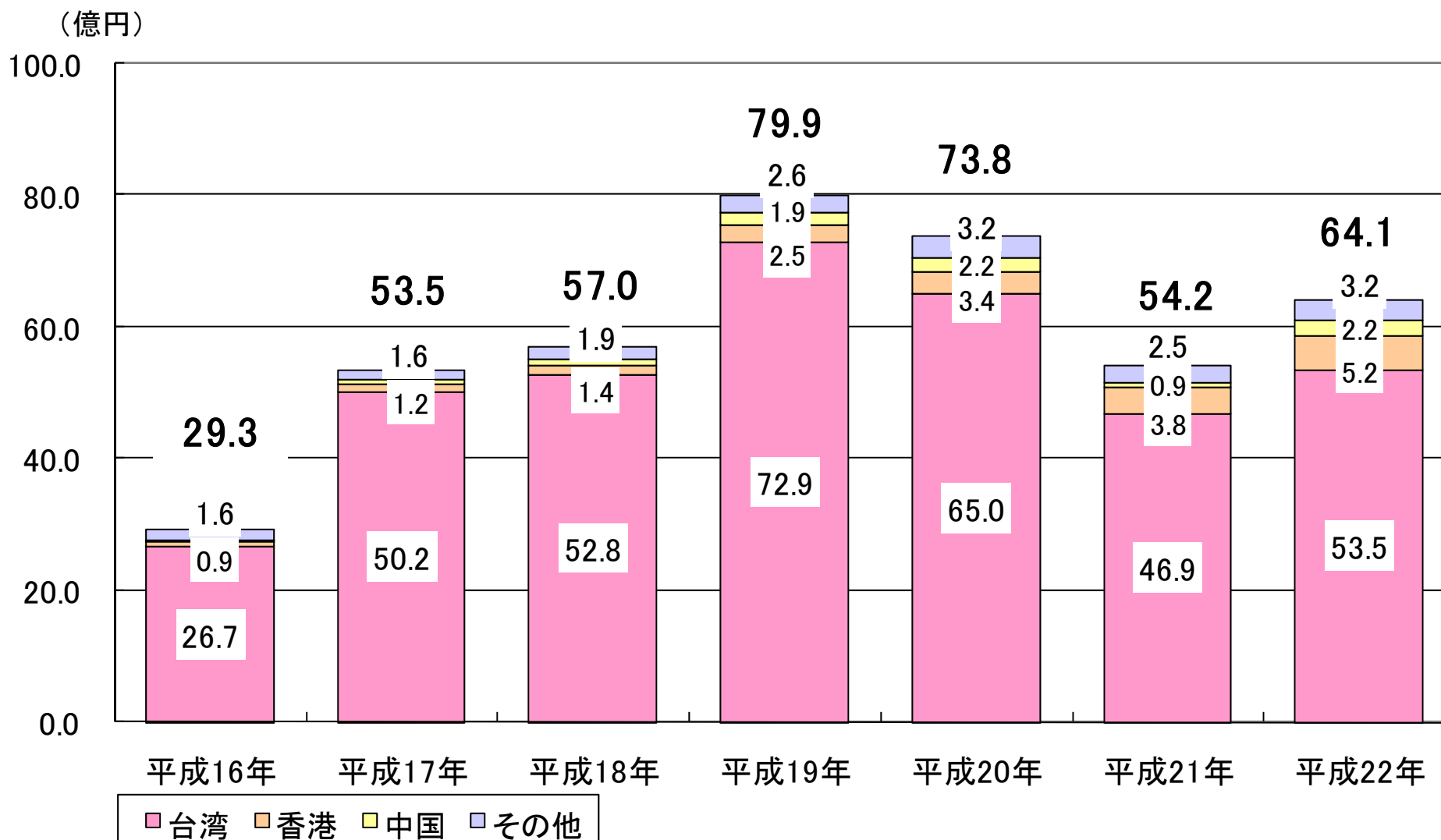
(単位: 億円)

品目名	平成21年	平成22年	対前年比
果実	81.0	88.0	8.6%
りんご	54.2	64.1	18.3%
桃	4.6	4.5	▲1.8%
ぶどう	4.7	4.2	▲8.7%
なし	6.8	3.6	▲47.2%
うんしゅうみかん	3.6	3.5	▲2.9%
柿	1.6	1.5	▲9.4%
野菜	24.5	26.9	9.6%
ながいも等	17.9	20.0	11.5%
いちご	1.6	1.9	16.4%
かんしょ	1.2	1.6	36.7%
メロン	0.9	1.0	17.3%
キャベツ	0.3	0.3	▲20.9%
だいこん	0.4	0.2	▲47.5%
レタス	0.1	0.1	▲37.2%
生鮮きのこ	2.7	1.4	▲47.6%
乾しいたけ	2.0	1.6	▲18.7%
その他	54.0	55.4	2.6%
果実・野菜等計	164.2	173.3	5.5%



りんごの輸出額・輸出先国の推移

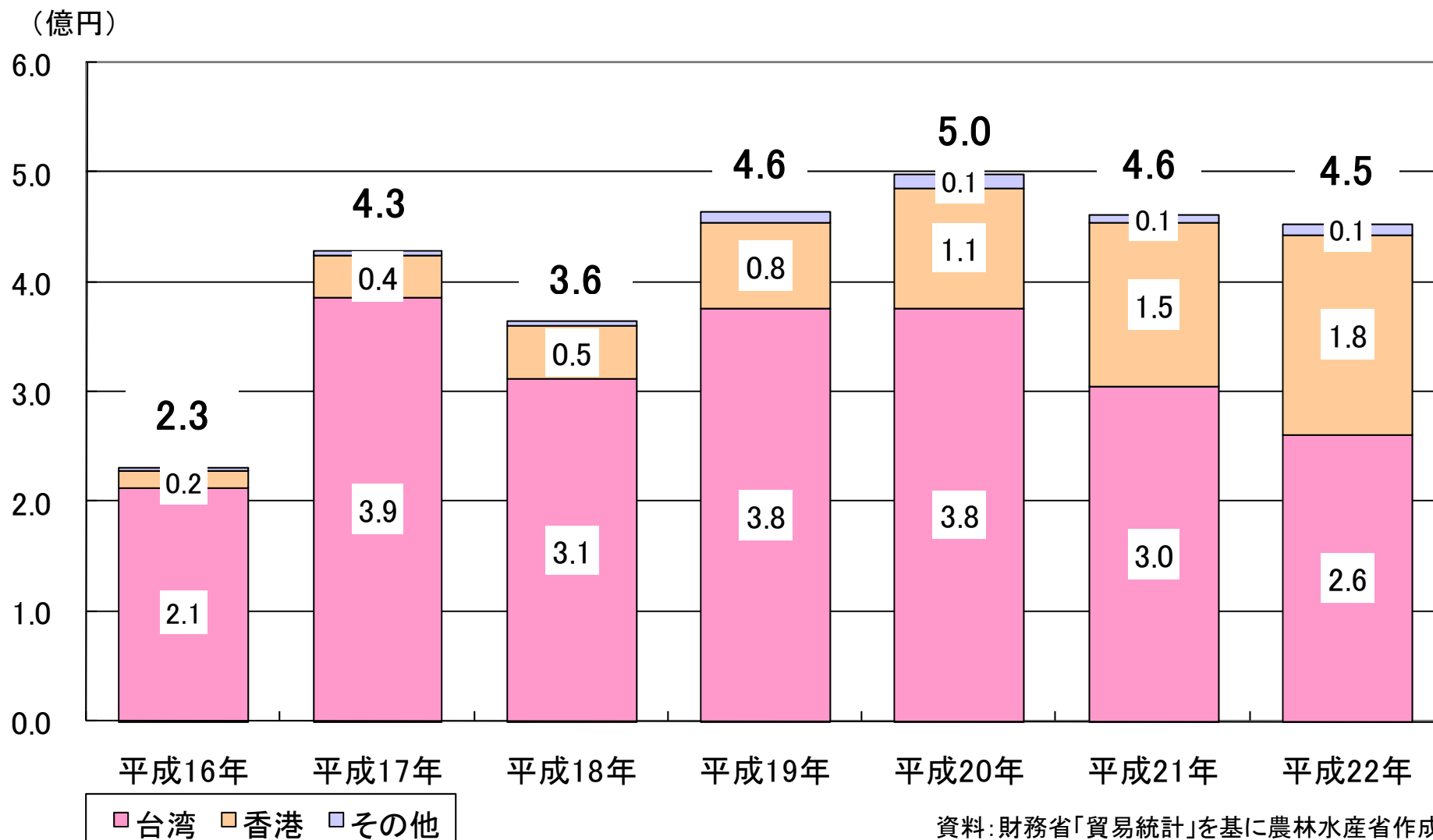
●りんごは、果実輸出の主力産品であり、台湾向けの輸出が多い。





桃の輸出額・輸出先国の推移

●桃の輸出額は、近年4～5億円程度の横ばいで推移。近年は、香港向けの輸出が拡大傾向。

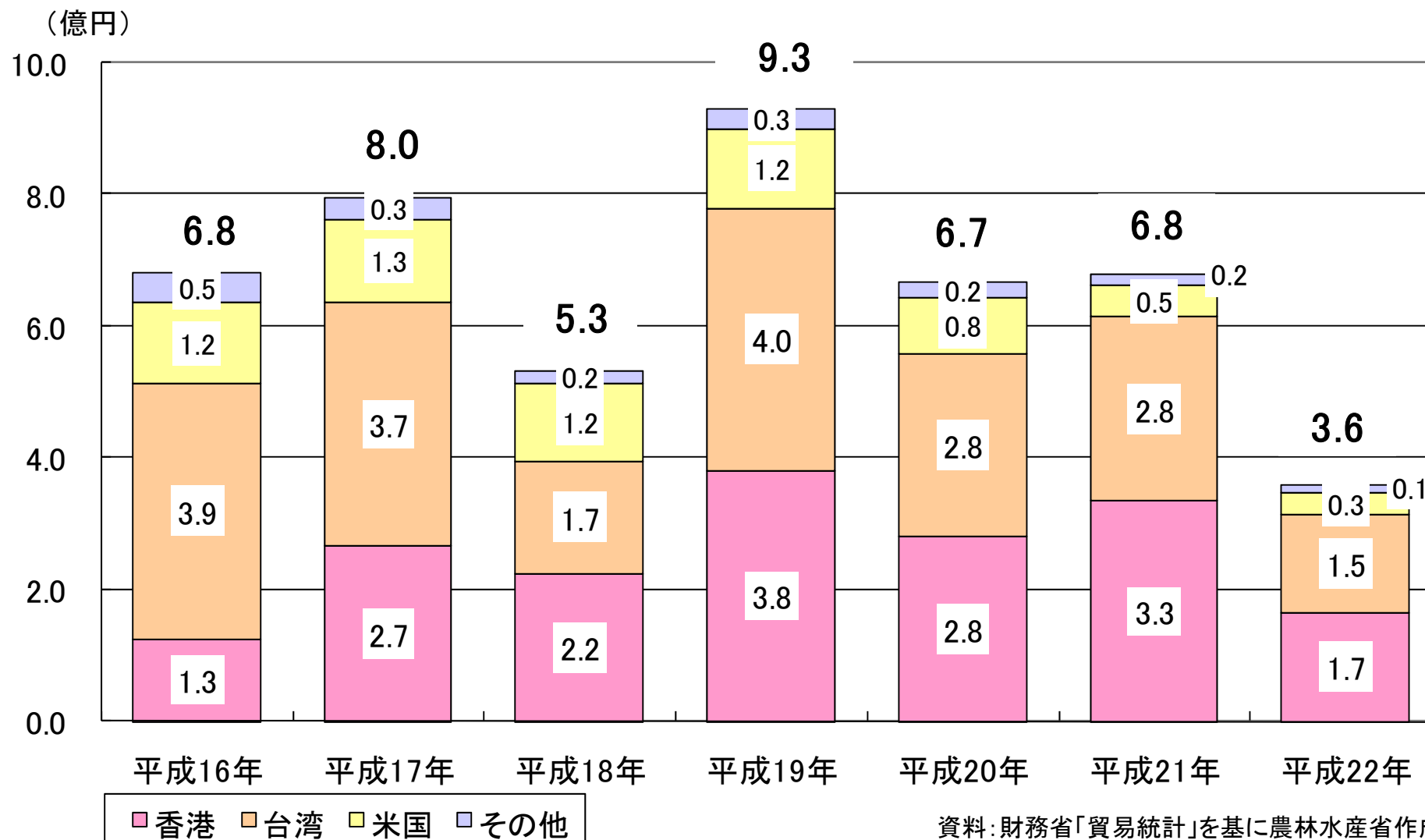




なしの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●なしの輸出額は、香港、台湾向けの輸出が多い。

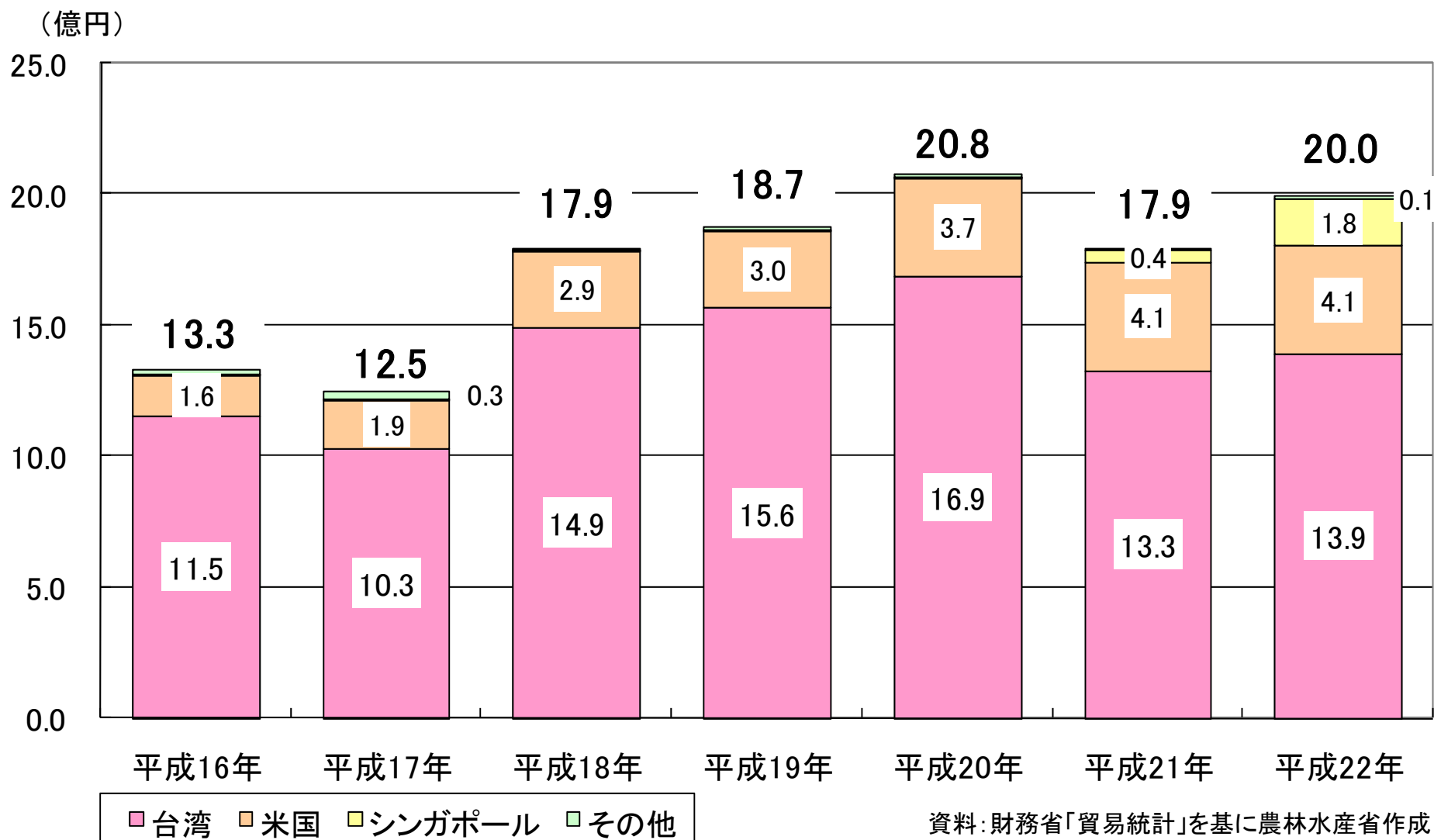




ながいも等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●ながいも等は野菜輸出の主力産品であり、台湾向けの輸出が多い。

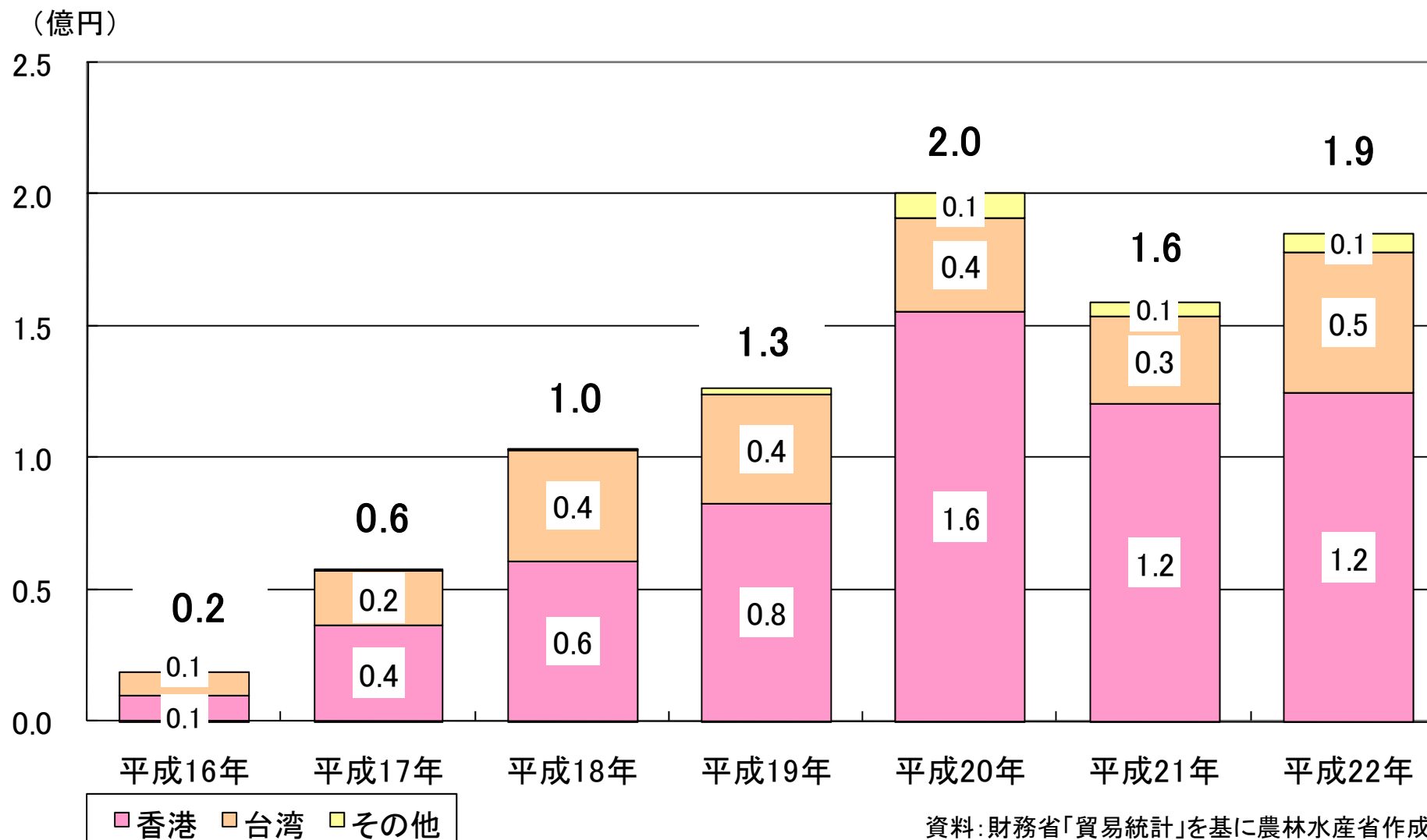


資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -20-



いちごの輸出額・輸出先国の推移

●いちごの輸出は近年、香港、台湾向けを中心に増加傾向。

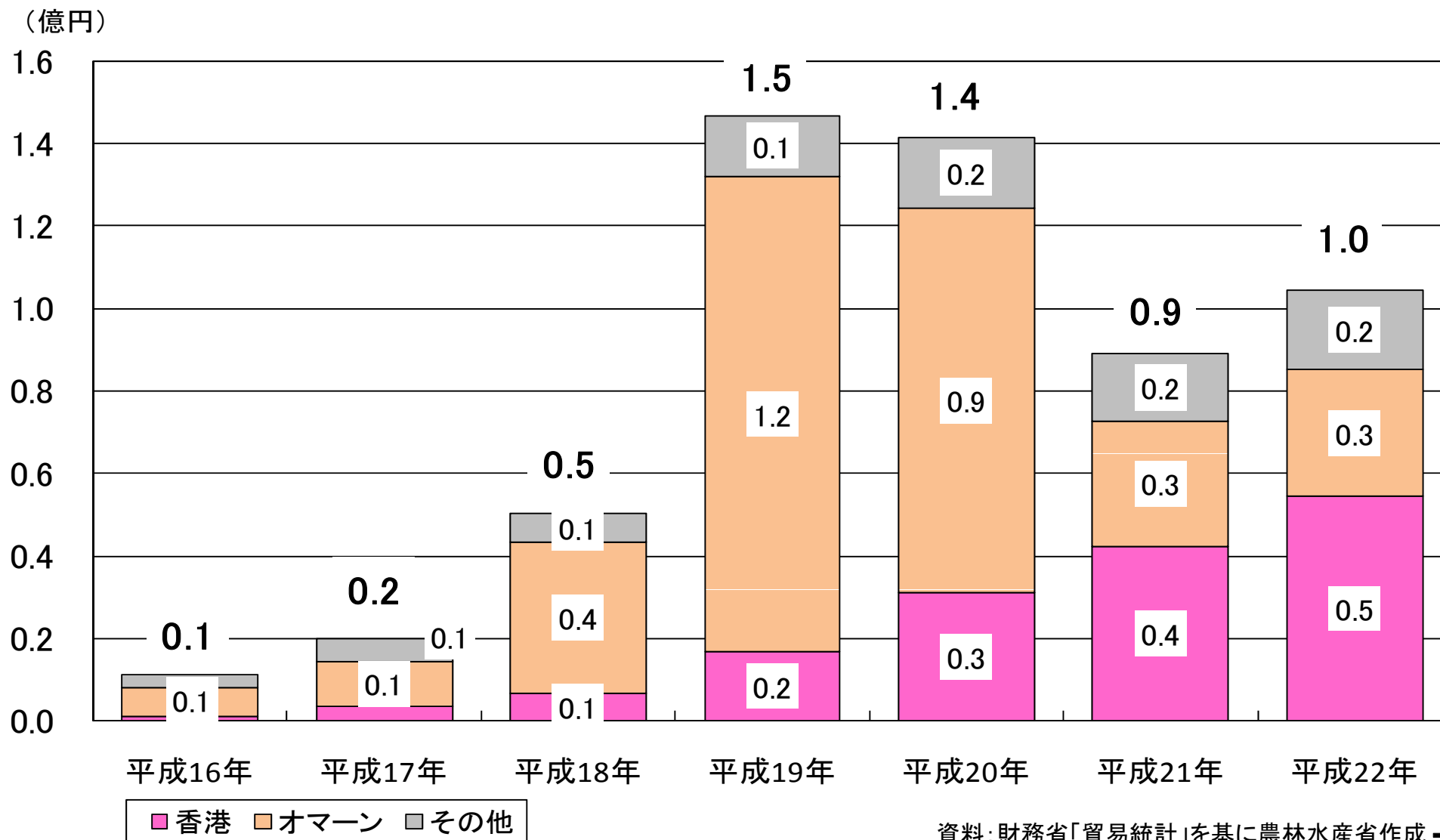




メロンの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●輸出先国1位は、香港。第2位のオマーンでは「食べるダイヤモンド」と称され、富裕層を中心に人気。

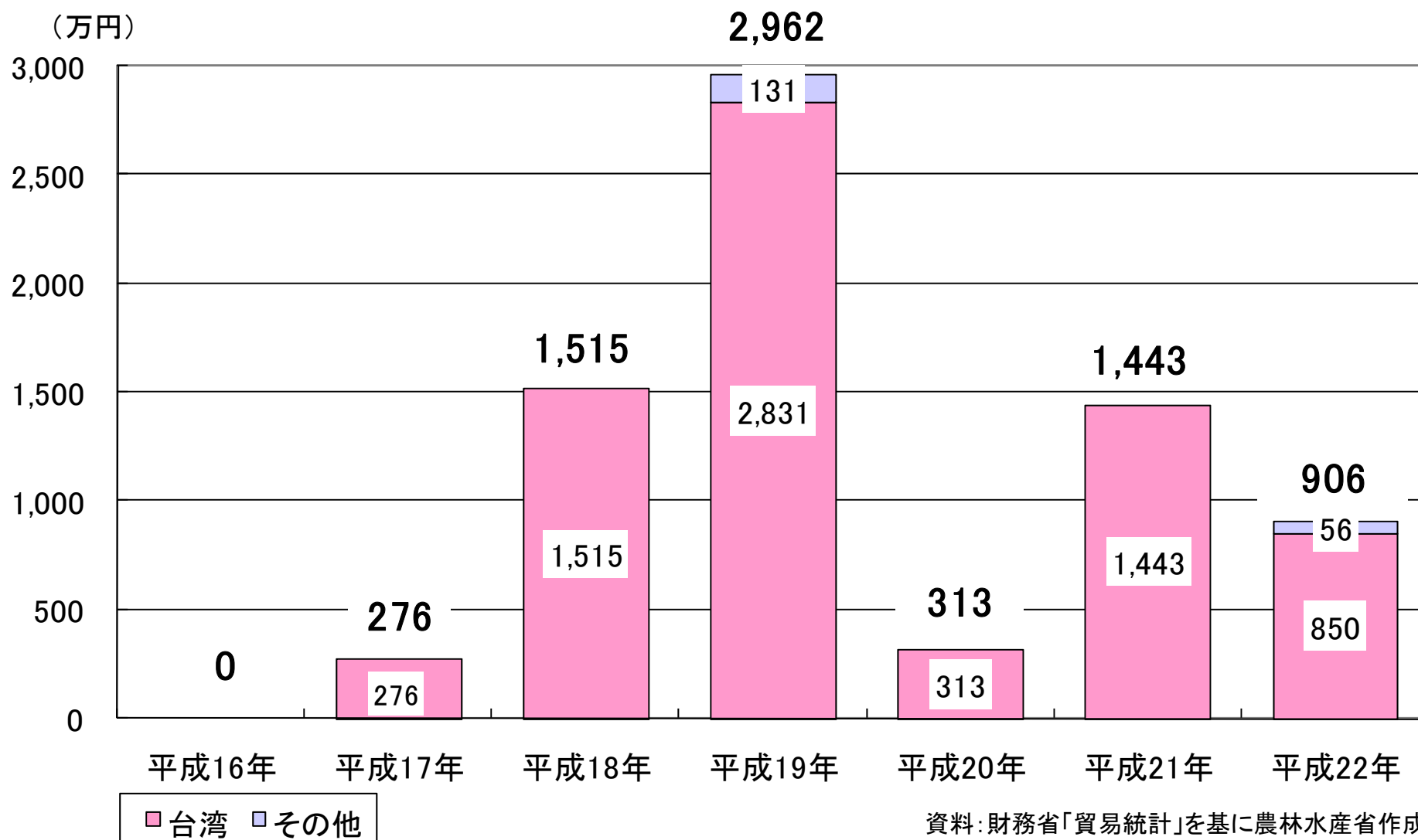


資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -22-



レタスの輸出額・輸出先国の推移

●レタスは、劣化しやすい葉物野菜であるが、試験輸出等の努力により、台湾向けの輸出が定着しつつある。

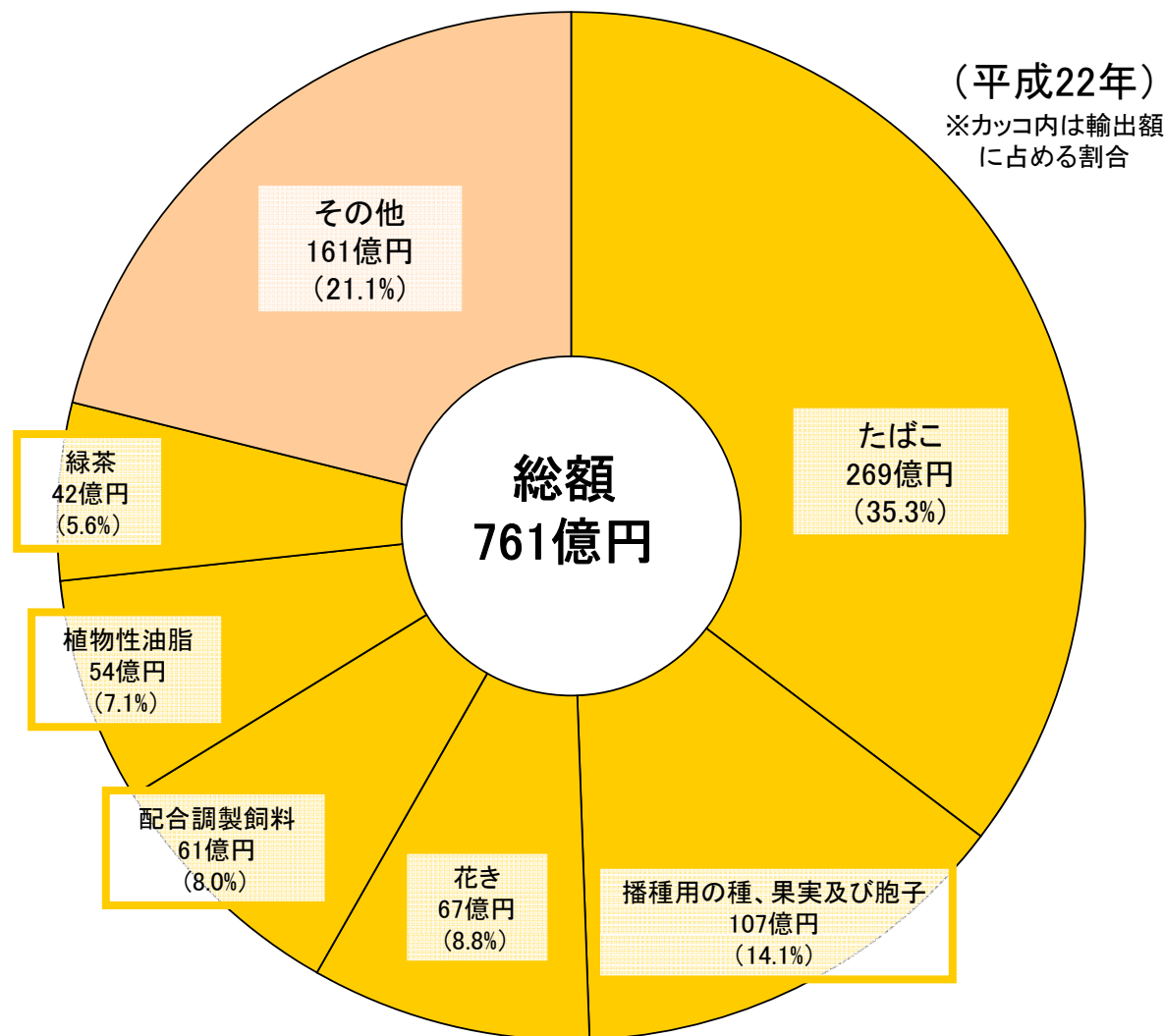




その他農産物の品目別内訳

MAFF

●その他の農産物では、たばこ、播種用の種、花きなどが多い。



(単位:億円)

品目名	平成21年	平成22年	対前年比
たばこ	266.4	268.6	0.8%
播種用の種、果実及び胞子	101.1	107.4	6.2%
花き	49.8	67.0	34.6%
植木等	44.7	61.6	37.8%
苗物類	3.7	3.6	▲2.1%
切花	1.1	1.4	21.3%
配合調製飼料	52.1	60.8	16.7%
植物性油脂	51.0	53.7	5.3%
ごま油	29.0	30.2	4.0%
緑茶	34.2	42.4	23.9%
植物の液汁エキス	28.3	26.3	▲7.1%
インスタントコーヒー	28.9	25.3	▲12.6%
メントール	10.4	22.7	118.4%
茶のエキス	14.2	12.8	▲10.3%
その他	65.3	73.7	12.9%
その他農産物計	701.8	760.7	8.4%

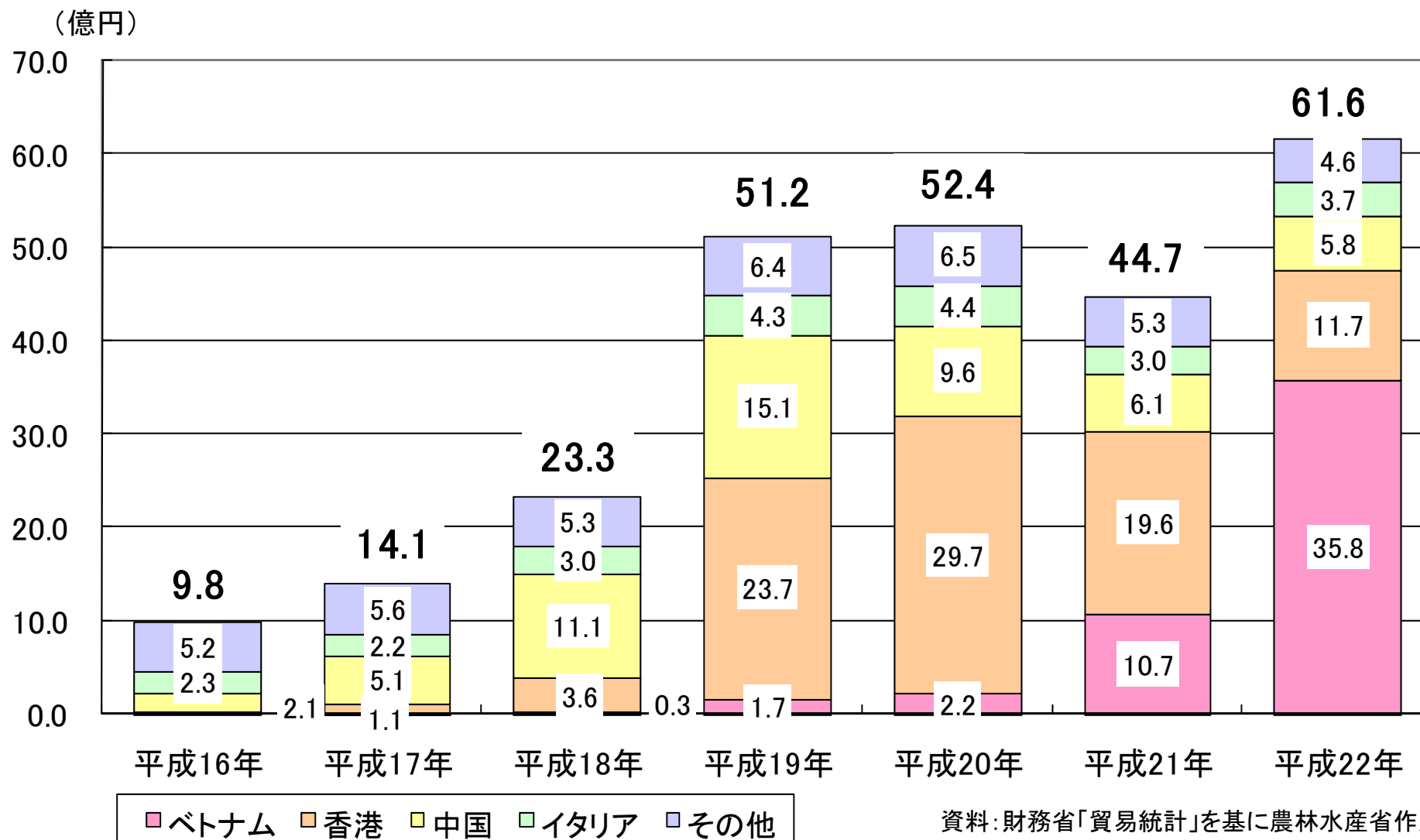
※植物の液汁エキス・・・用途は健康食品や化粧品など。
※メントール・・・ハッカから抽出される成分。医薬品などに使用。



植木等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出は、近年増加傾向。

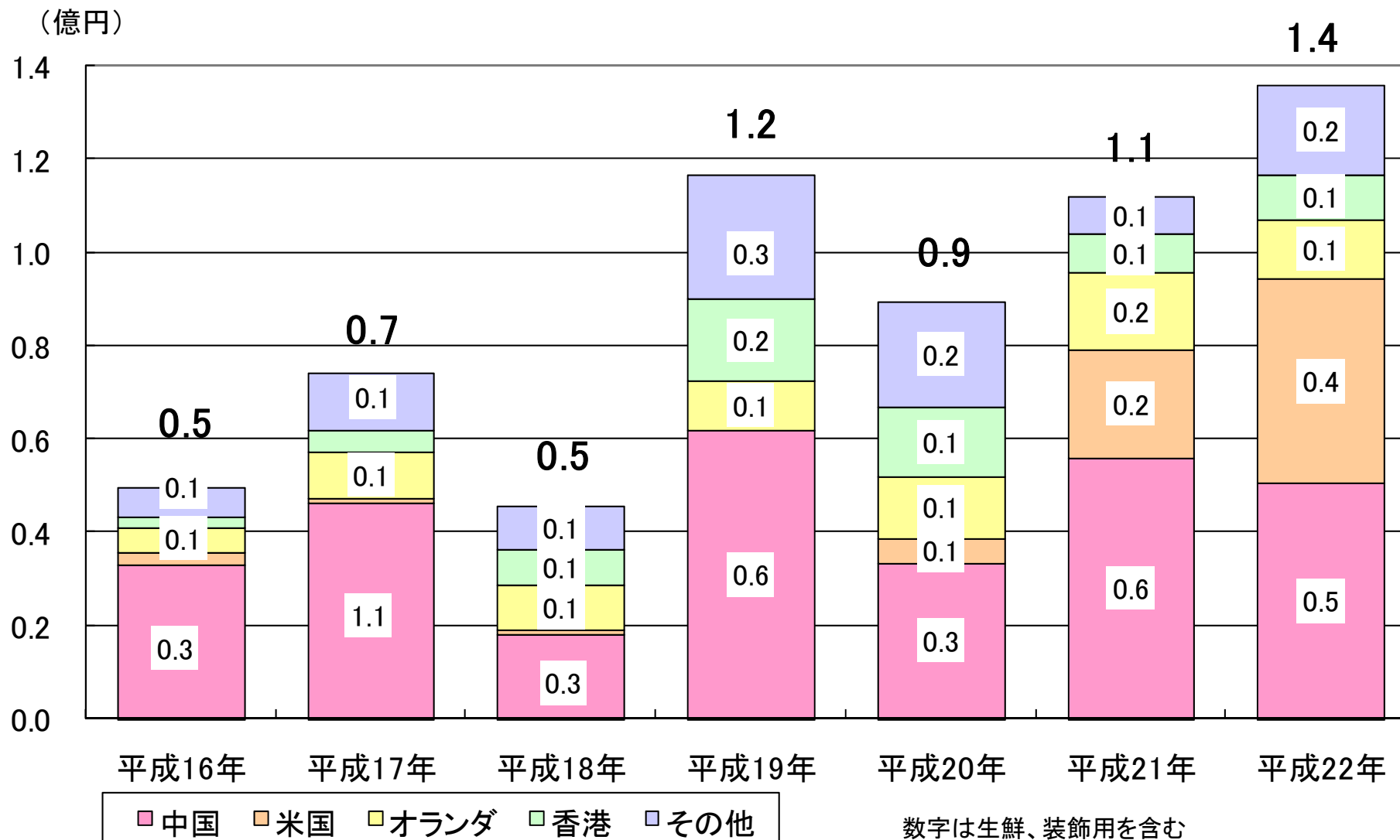


資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -25-



切花の輸出額・輸出先国の推移

●切花の輸出額は、増加傾向。



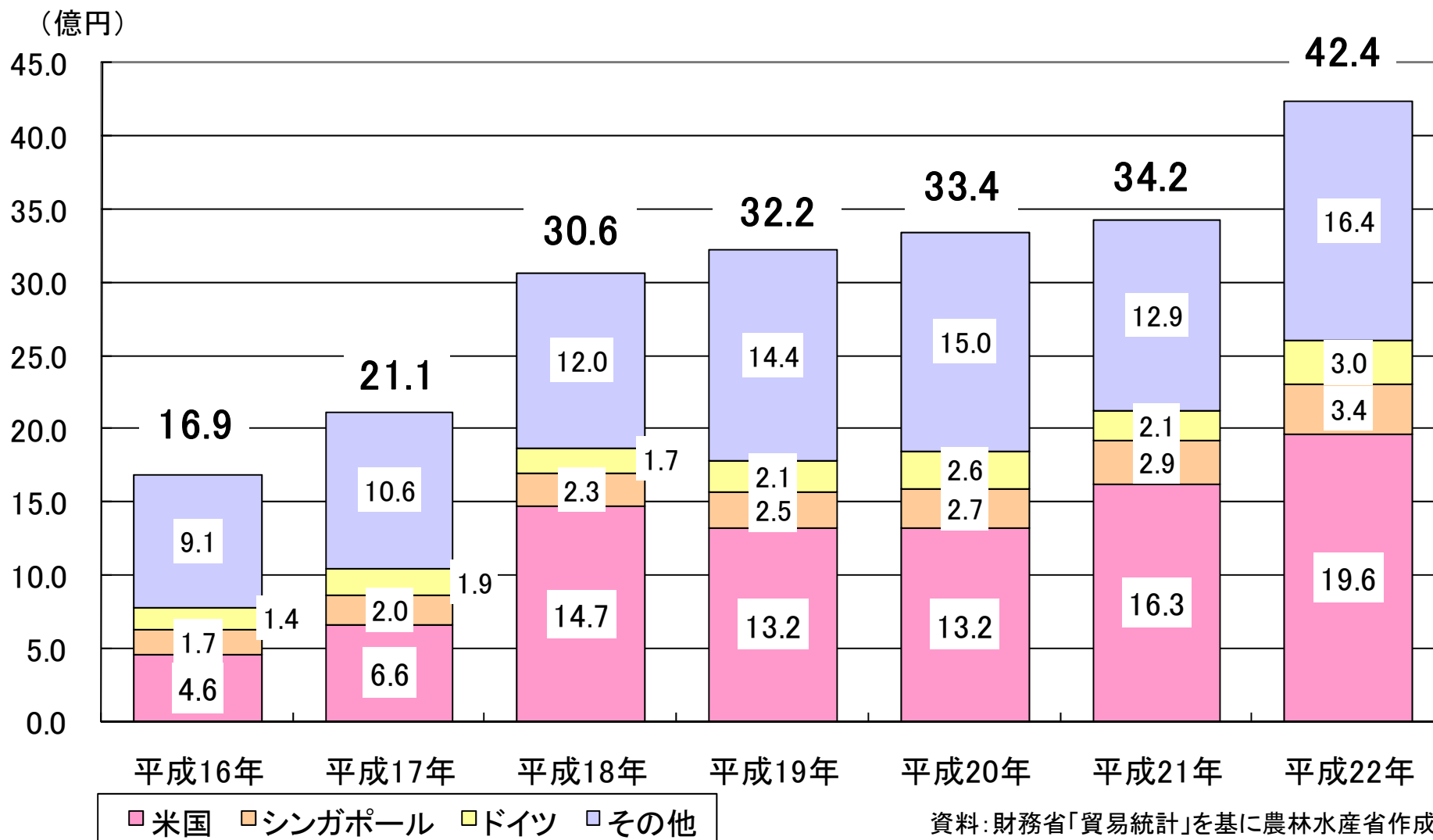
数字は生鮮、装飾用を含む

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -26-



緑茶の輸出額・輸出先国の推移

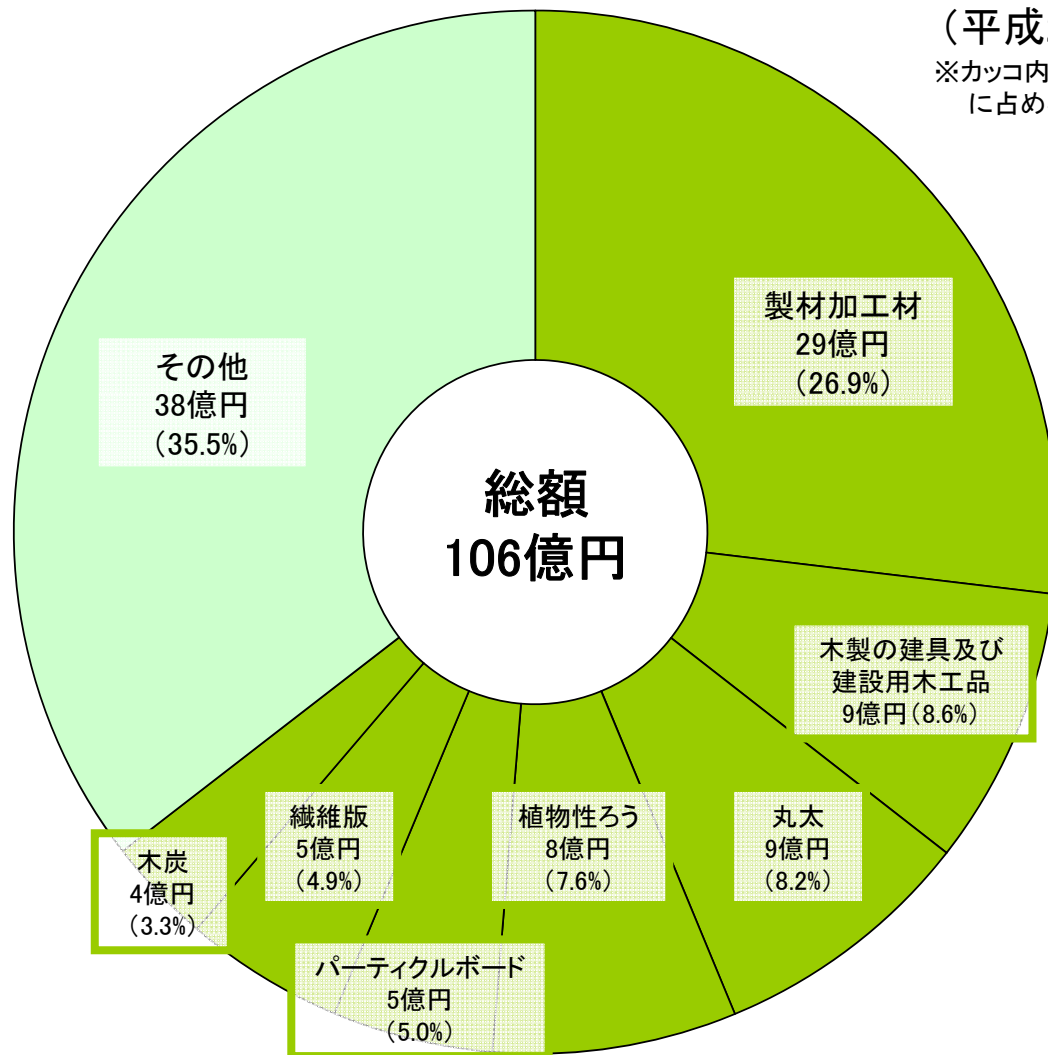
- 緑茶の輸出は、近年順調に増加。
- 米国向けの輸出が大きく、店頭販売用の緑茶の需要が好調。





林産物の品目別内訳

●林産物の品目別内訳をみると、製材加工材、木製の建具、丸太などの割合が多い。



(単位: 億円)

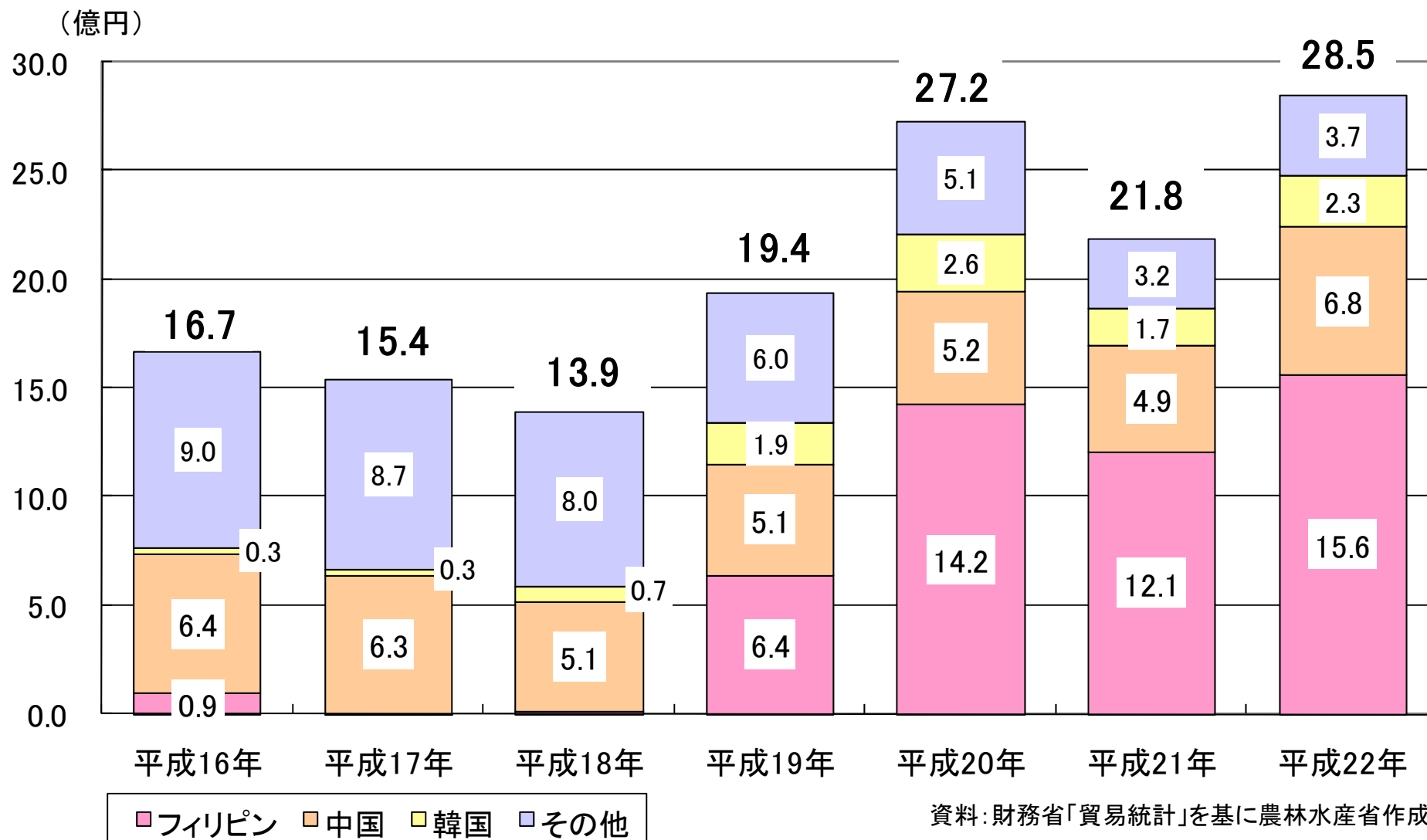
品目名	平成21年	平成22年	対前年比
製材加工材	21.8	28.5	30.5%
木製の建具及び建設用木工品	9.7	9.2	▲5.3%
丸太	5.5	8.7	59.1%
植物性ろう	5.5	8.0	44.9%
パーティクルボード	6.8	5.3	▲22.4%
繊維版	6.1	5.2	▲14.4%
木炭	2.6	3.5	33.9%
その他	35.2	37.6	6.7%
林産物計	93.2	105.9	13.6%

※植物性ろう・・・用途は化粧品など。
※木炭・・・用途はお香など。



製材加工材の輸出額・輸出先国の推移

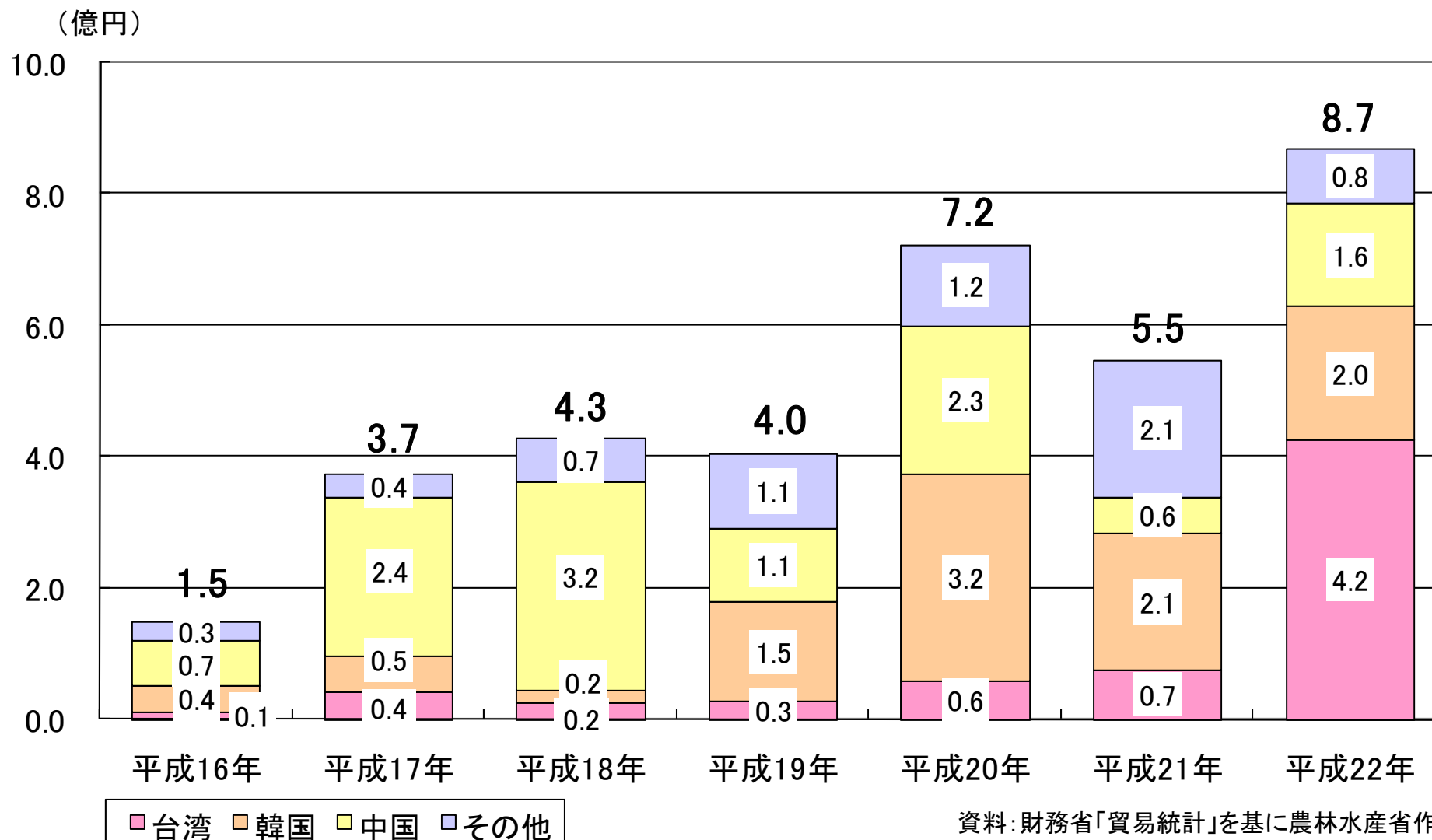
- 製材加工材の輸出額は、近年傾向的に増加。
- 特に、平成19年からは、フィリピン向けの輸出が大きく増加。





丸太の輸出額・輸出先国の推移

- 丸太の輸出額は、近年傾向的に増加。
- 平成22年は、台湾向けが大幅に増加。



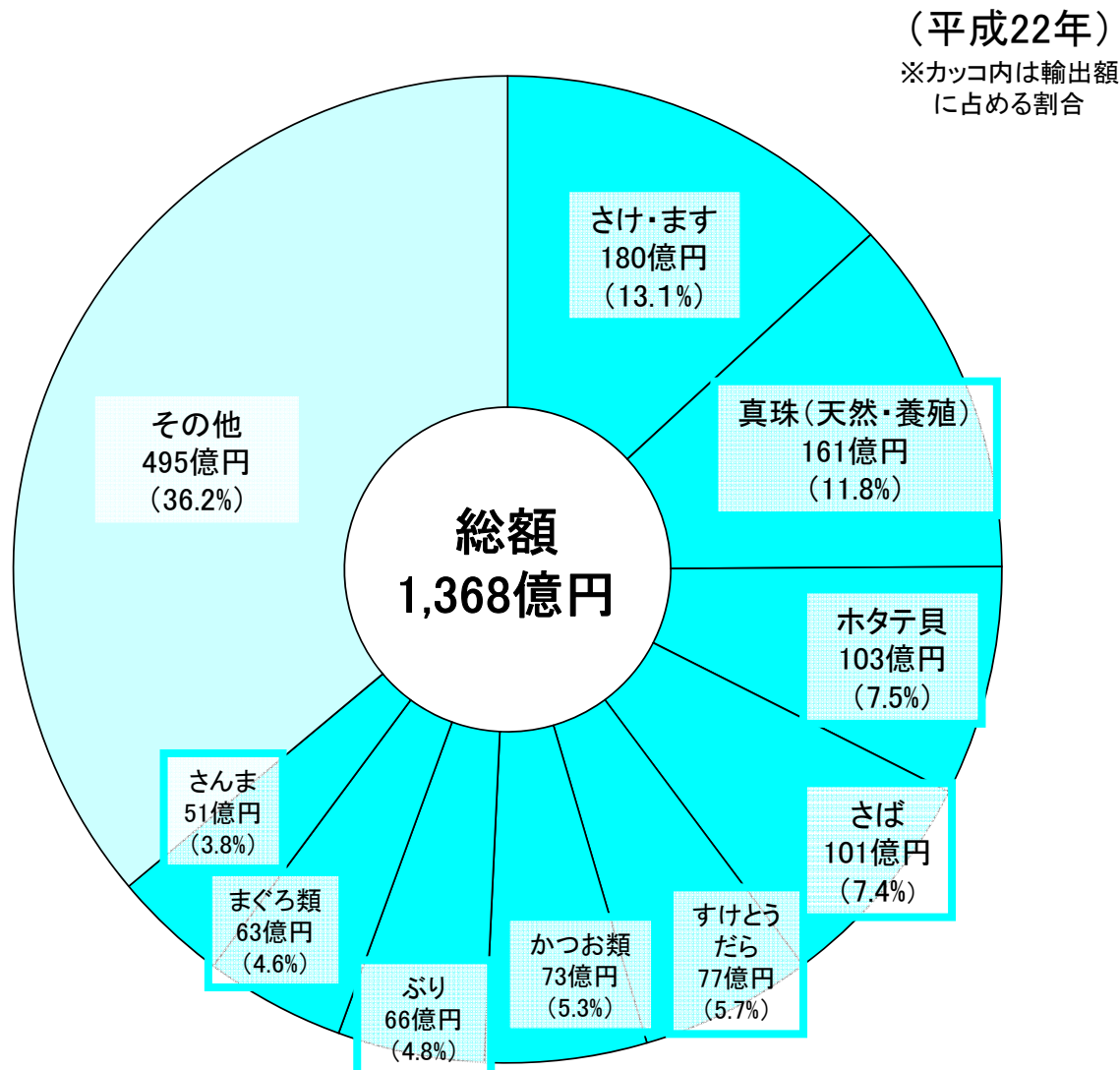


水産物(水産調製品以外)の品目別内訳

MAFF

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、さけ・ます、真珠(天然・養殖)、ホタテ貝、さば、すけとうだらなどの割合が多い。

(単位:億円)

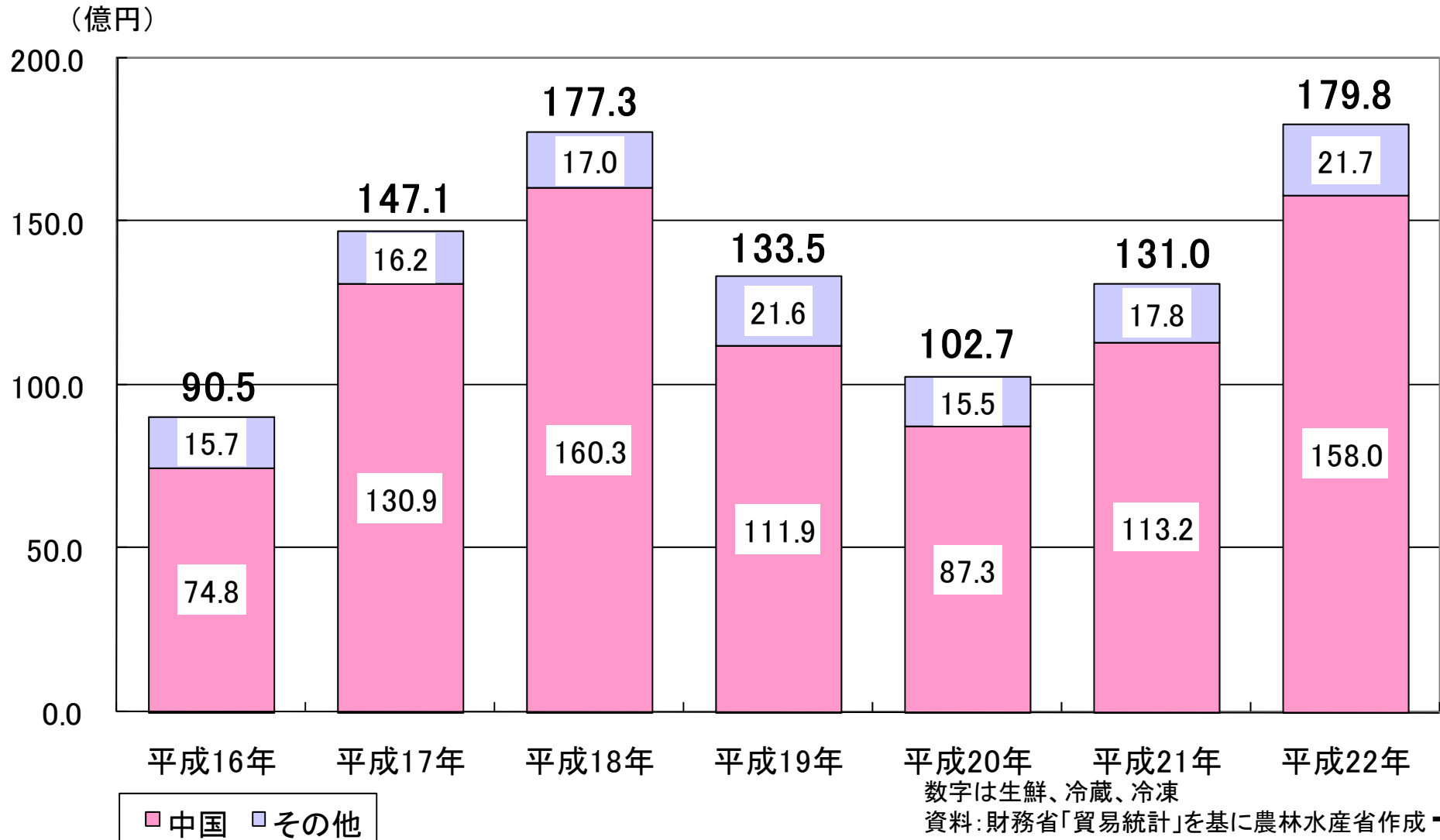


品目名	平成21年	平成22年	対前年比
さけ・ます(生・蔵・凍)	131.0	179.8	▲37.2%
真珠(天然・養殖)	176.6	160.9	▲8.9%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	142.8	102.9	▲28.0%
さば(冷蔵・冷凍)	74.9	100.7	▲34.5%
すけとうだら(生・蔵・凍)	94.6	77.3	▲18.2%
かつお類(生・蔵・凍)	21.9	72.7	▲231.6%
ぶり(生・蔵・凍)	55.1	65.7	▲19.2%
まぐろ類(生・蔵・凍)	97.1	63.0	▲35.1%
さんま(冷凍)	49.7	51.3	▲3.3%
いか(生・蔵・凍)	35.1	48.6	▲38.5%
さんご	13.4	31.1	▲131.9%
錦鯉等観賞用魚	22.3	28.0	▲25.4%
たい(活)	24.2	22.2	▲8.3%
ほや(活・生・蔵)	15.5	14.5	▲6.6%
干しおり 焼きのり 味付けのり	13.2	11.6	▲12.0%
たら(生・蔵・凍、すけとう除く)	11.9	11.1	▲6.7%
さめ(生・蔵・凍)	8.0	9.0	▲12.1%
乾こんぶ	7.9	8.1	▲2.6%
さめのひれ	6.4	7.5	▲18.0%
魚油(肝油除く)	7.2	5.3	▲26.4%
かに(冷凍)	10.3	5.2	▲48.9%
えび(冷凍)	5.3	5.0	▲4.7%
たこ(活・生・蔵・凍・塩・乾)	4.6	4.3	▲6.8%
めろ(生・蔵・凍)	2.9	4.0	▲38.8%
うなぎ(活)	7.3	3.6	▲50.2%
寒天	1.5	1.6	▲12.2%
魚粉	1.1	0.8	▲26.1%
めかじき(生・蔵・凍)	1.7	0.6	▲66.1%
その他	206.0	271.2	▲31.6%
水産物(水産調製品以外)計	1,249.5	1,367.7	▲9.5%



さけ・ますの輸出額・輸出先国の推移

- さけ・ますは、輸出額が100億円を超える、我が国の主力輸出産品。
- 中国の加工工場で加工され、最終的には欧米向けに輸出されている。

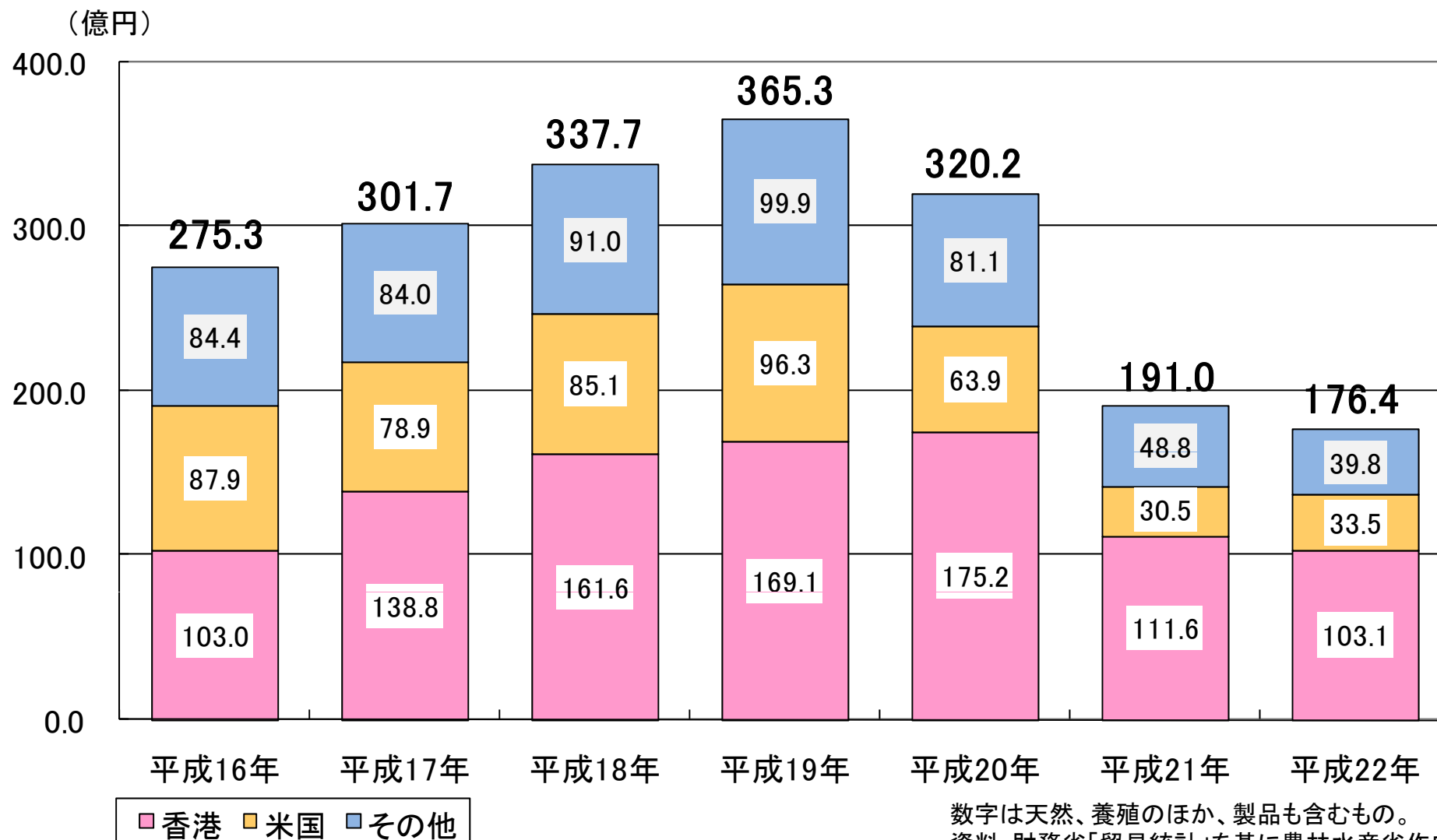




真珠(製品含む)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●真珠は、輸出額が300億円を超える、我が国の主力輸出産品であったが、近年の輸出額は大きく減少。



数字は天然、養殖のほか、製品も含むもの。

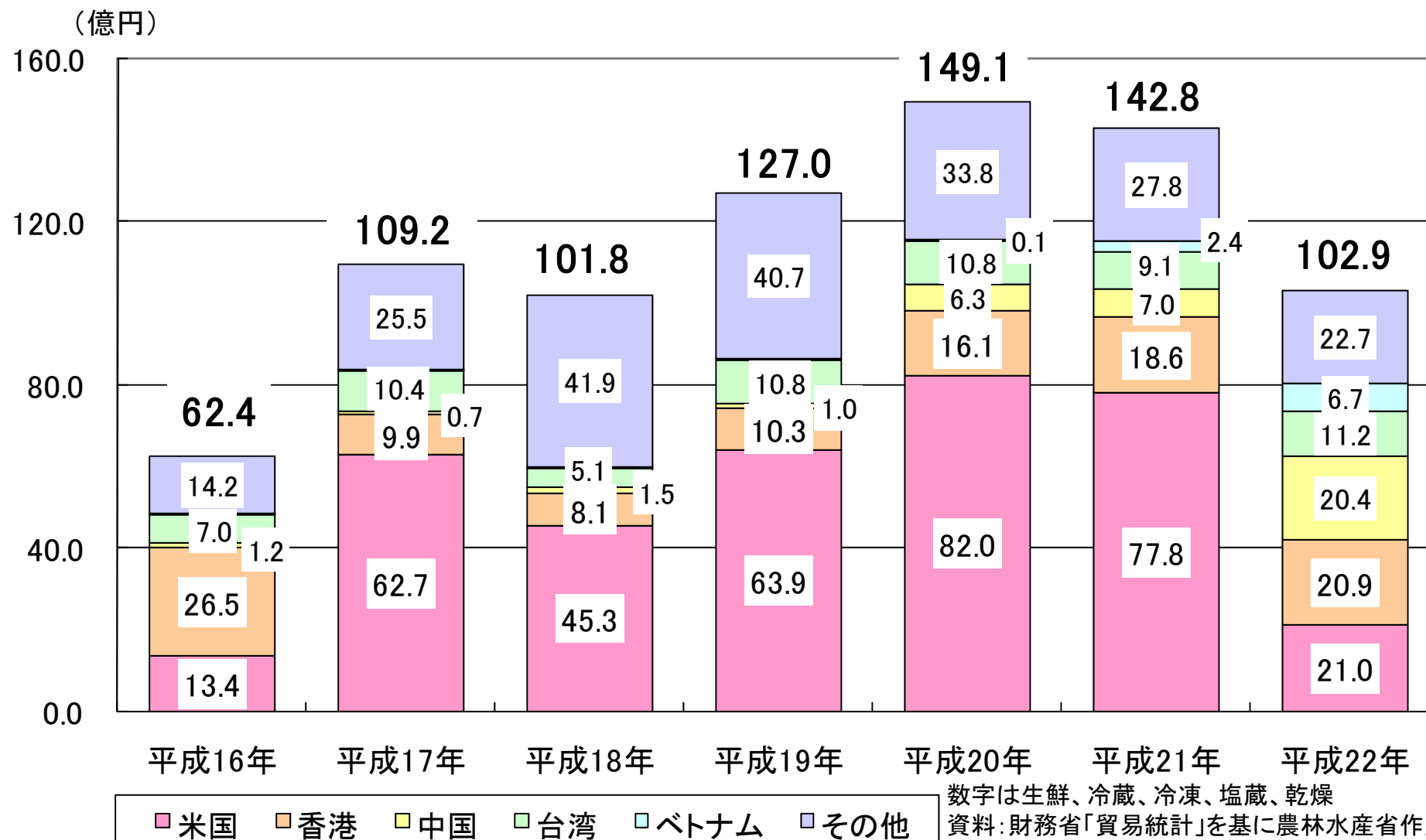
資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -33-



ホタテ貝の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

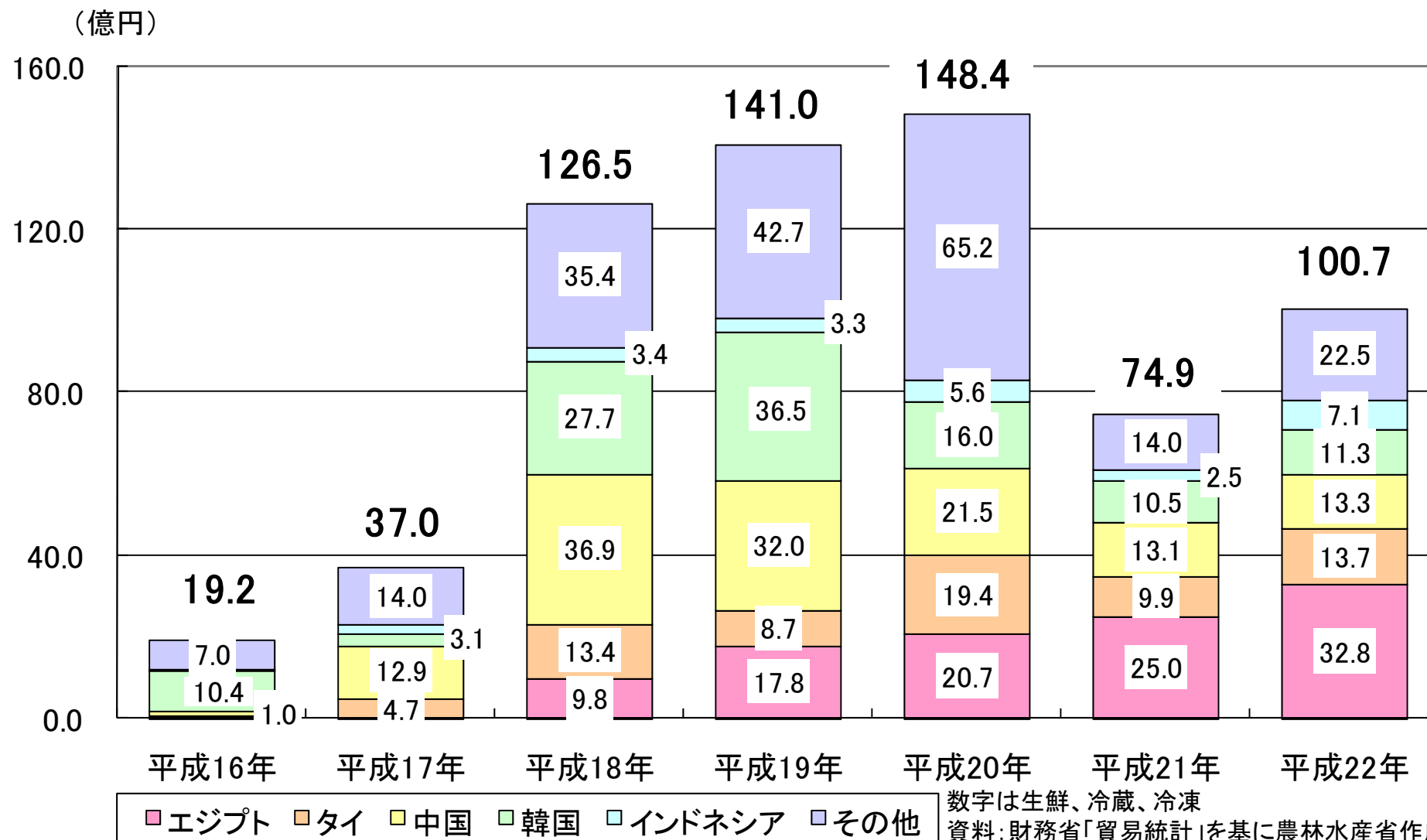
●ホタテ貝は、輸出額が100億円を超える、我が国の主力輸出産品。





さばの輸出額・輸出先国の推移

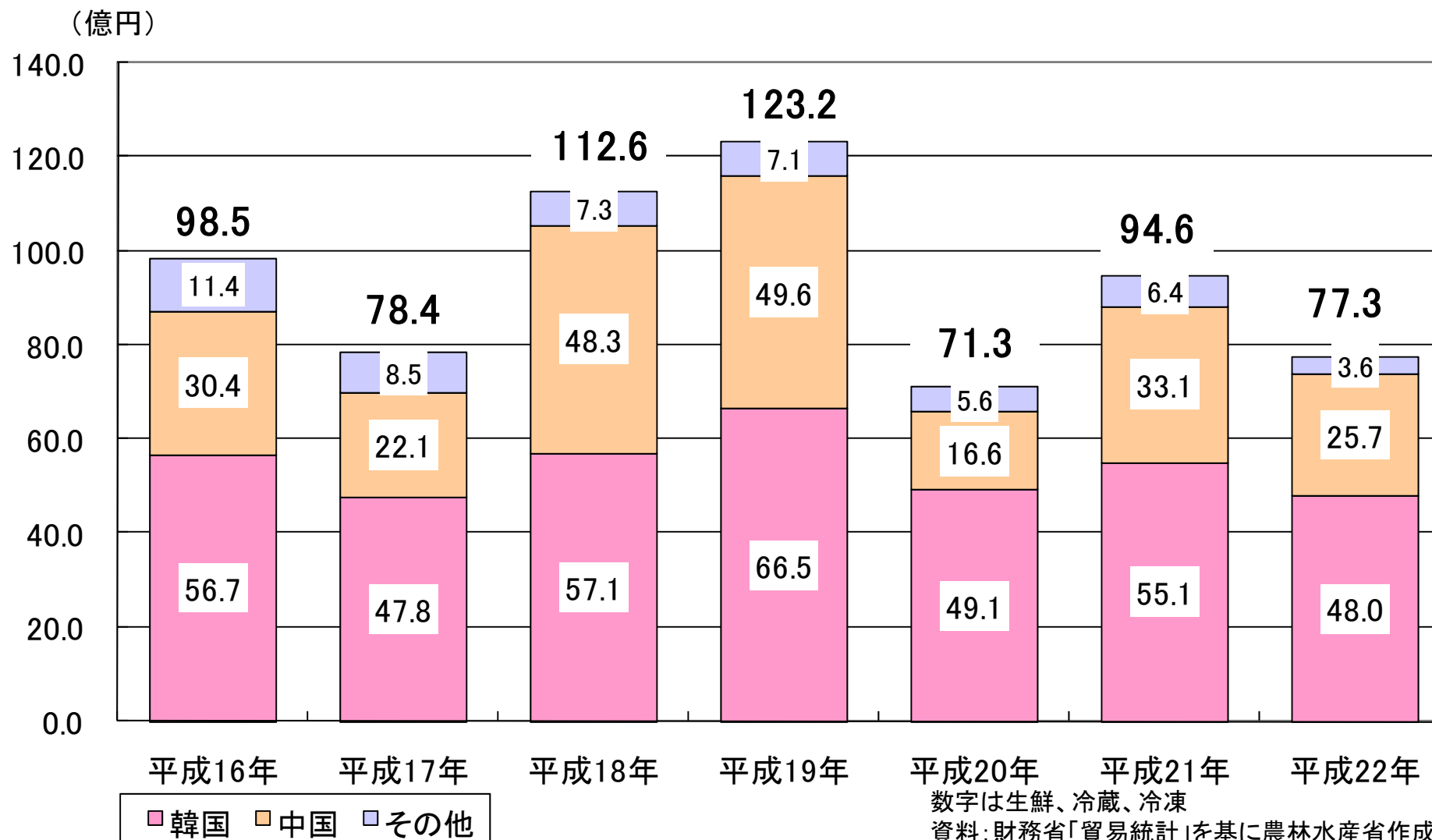
●エジプト向けは現地消費用、タイや中国向けは加工原料用として輸出されている。





すけとうだらの輸出額・輸出先国の推移

●すけとうだらの輸出額は、韓国、中国向けが多いが、近年は減少傾向。

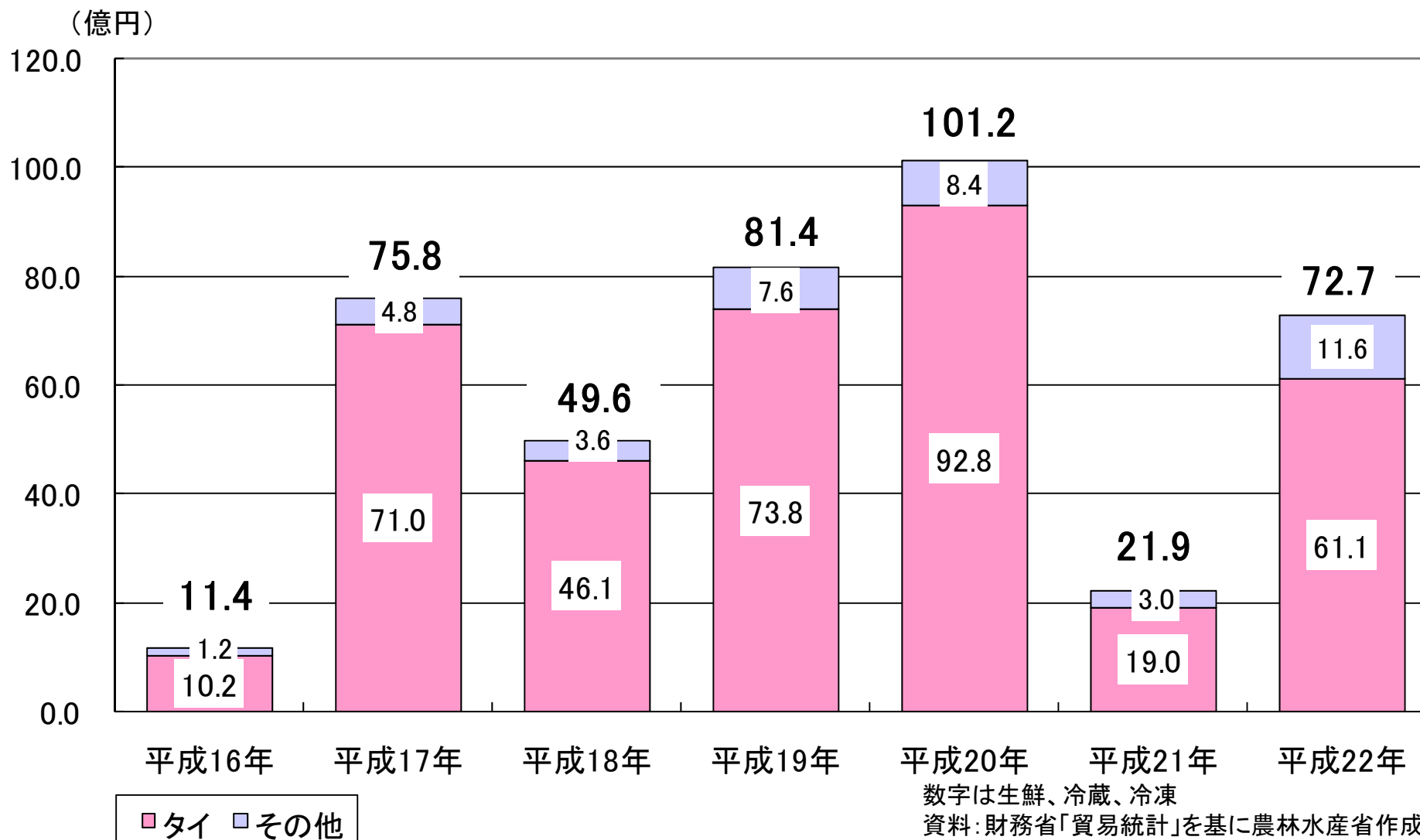




かつお類の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●平成21年のかつお類の輸出は、水揚量の減少やバンコク相場の急落により大幅に減少したが、平成22年は輸出額が回復。

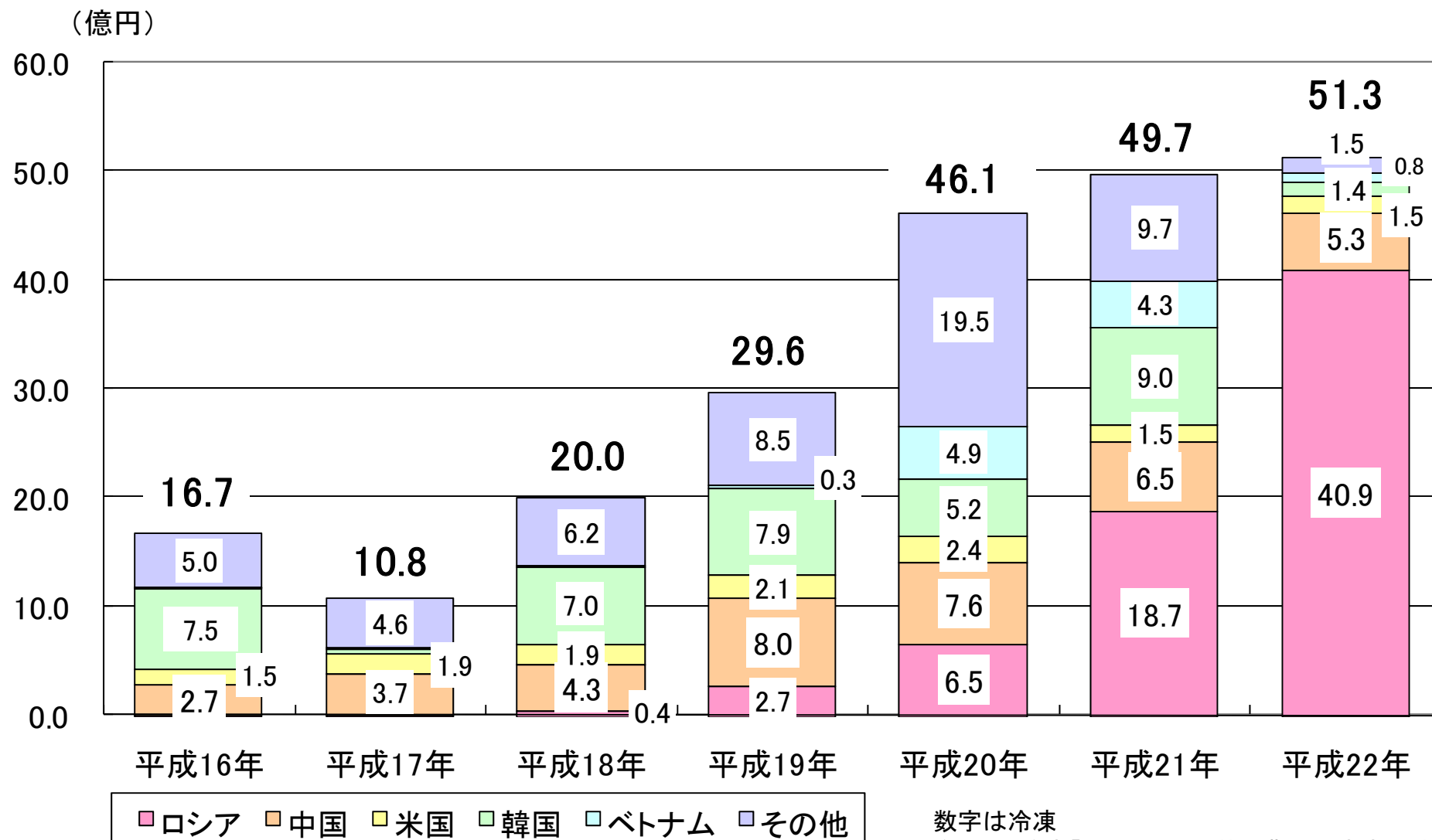




さんまの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●さんまの輸出額は、近年順調に増加。とりわけ、ロシア向けが大幅に増加。



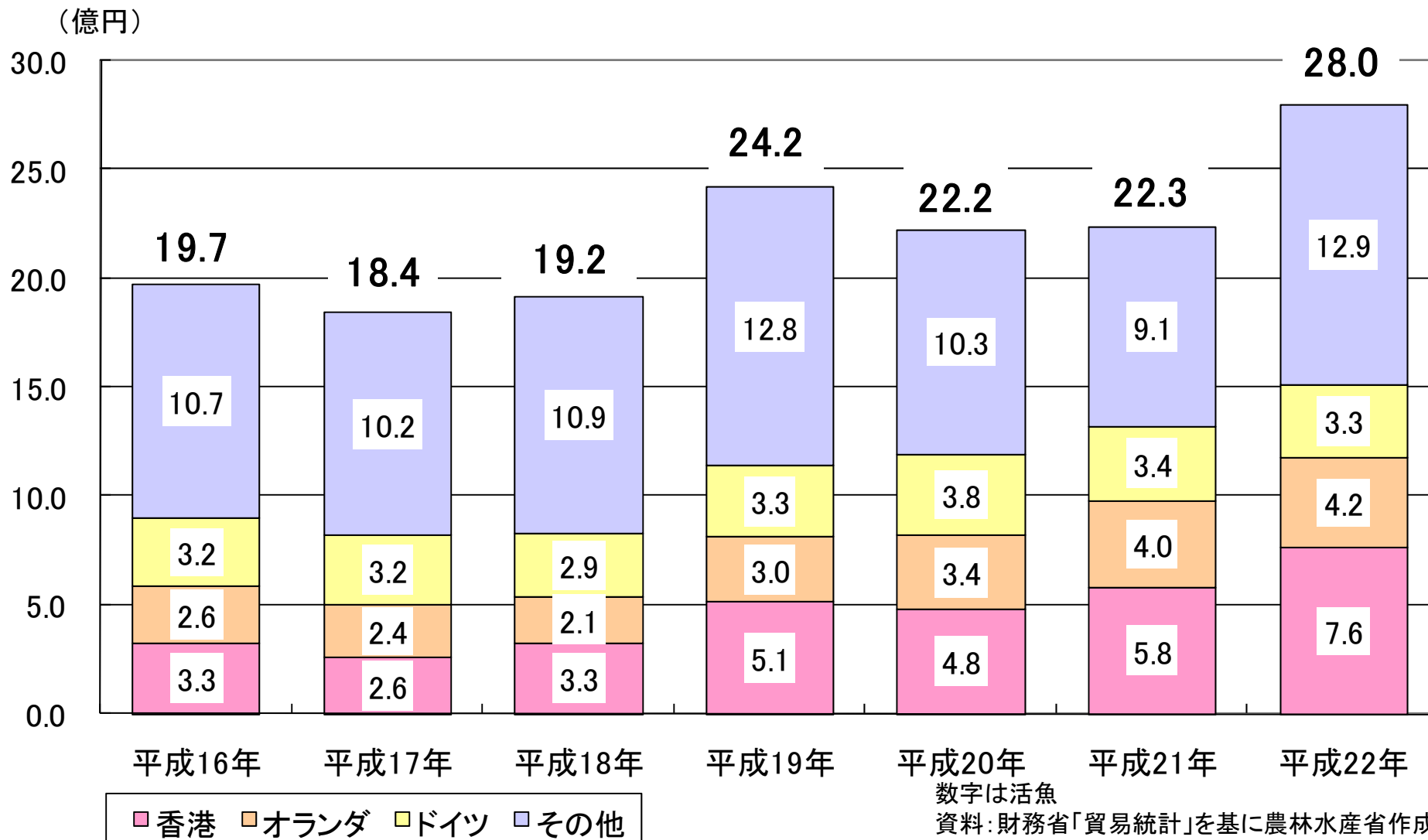
数字は冷凍
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



錦鯉等観賞用魚の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

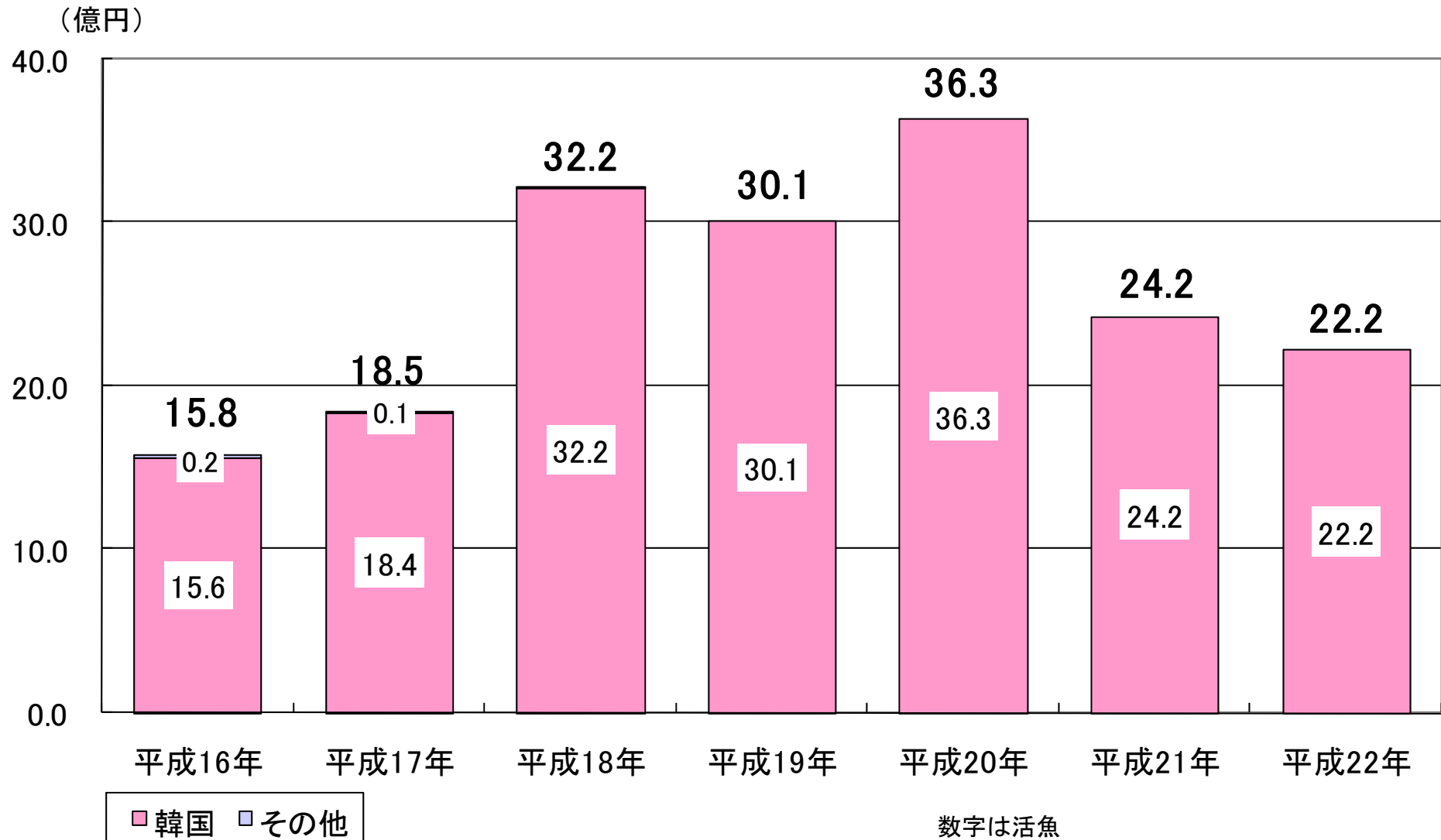
- 欧米やアジアの富裕層を中心に、錦鯉が人気で増加傾向。盆栽と並んで、日本文化の象徴として楽しまれている。





たいの輸出額・輸出先国の推移

●たいの輸出額は、韓国向けが多いが、近年は減少傾向。



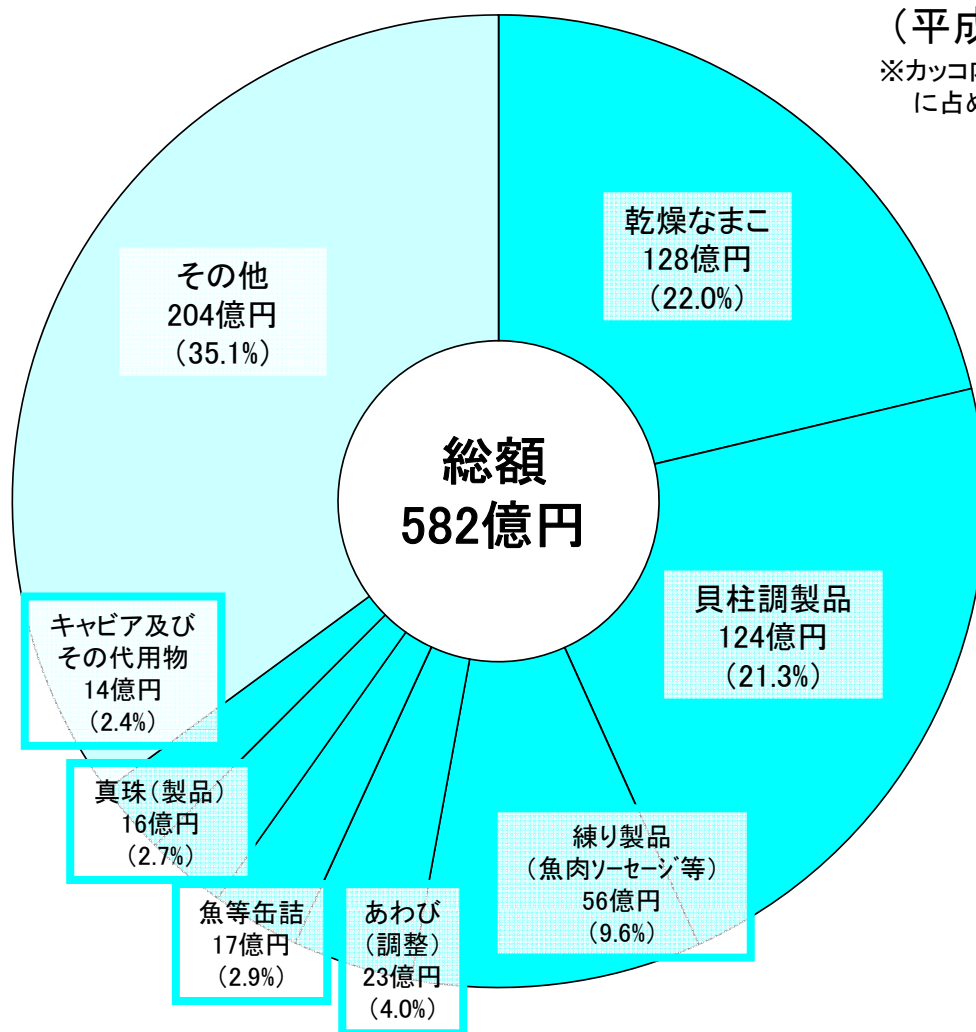
数字は活魚

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -40-



水産調製品の品目別内訳

●水産調製品の品目別内訳をみると、乾燥なまこ、貝柱調製品、練り製品などの割合が多い。



(平成22年)
※カッコ内は輸出額に占める割合

(単位: 億円)

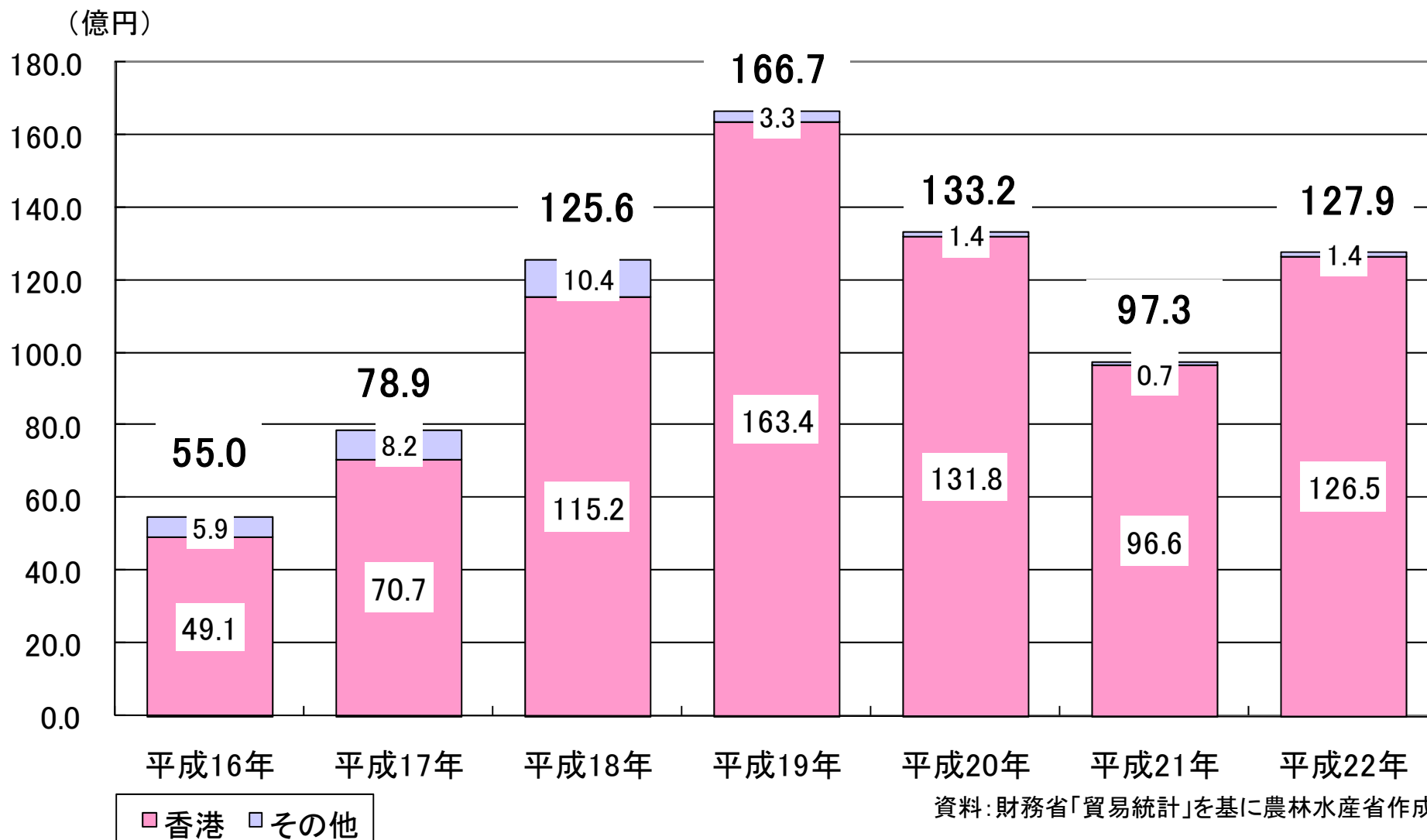
品目名	平成21年	平成22年	対前年比
乾燥なまこ	97.3	127.9	31.4%
貝柱調製品	103.4	123.8	19.8%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	54.8	56.1	2.4%
あわび (調整)	18.0	23.2	28.6%
魚等缶詰	21.2	17.1	▲19.2%
真珠 (製品)	14.4	15.6	8.3%
キャビア及びその代用物	13.5	14.1	4.8%
その他	152.2	204.3	34.2%
水産調製品	474.7	582.1	22.6%

※あわび、乾燥なまこ…中華料理の高級食材として使用
※キャビア及びその代用物…いくら、たらこなど



乾燥なまこの輸出額・輸出先国の推移

- 乾燥なまこは、輸出額が100億円前後となっており、我が国の主力輸出産品。
- 「黒いダイヤモンド」と称され、香港では高級中華料理の食材として人気。

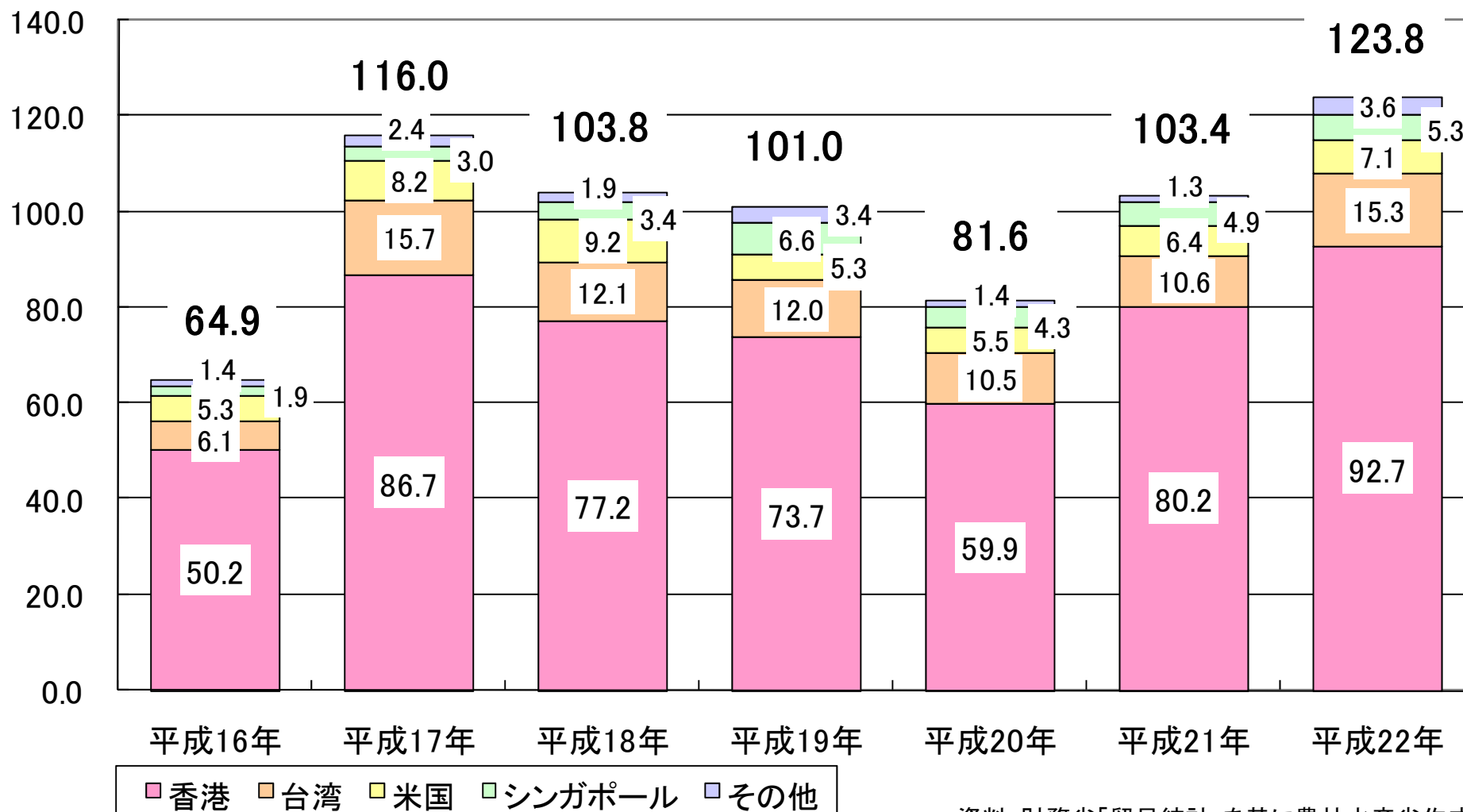




貝柱調製品の輸出額・輸出先国の推移

- 貝柱調製品は、輸出額が100億円を超える我が国の主力輸出産品。
- ホタテ貝の干し貝柱が中心であるとみられ、香港において中華料理の食材として使われている。

(億円)



資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



あわび(調整)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- あわび(調整)は、香港において、高級中華料理の食材として人気。

